



下水道設計標準図

高知市上下水道局下水道整備課

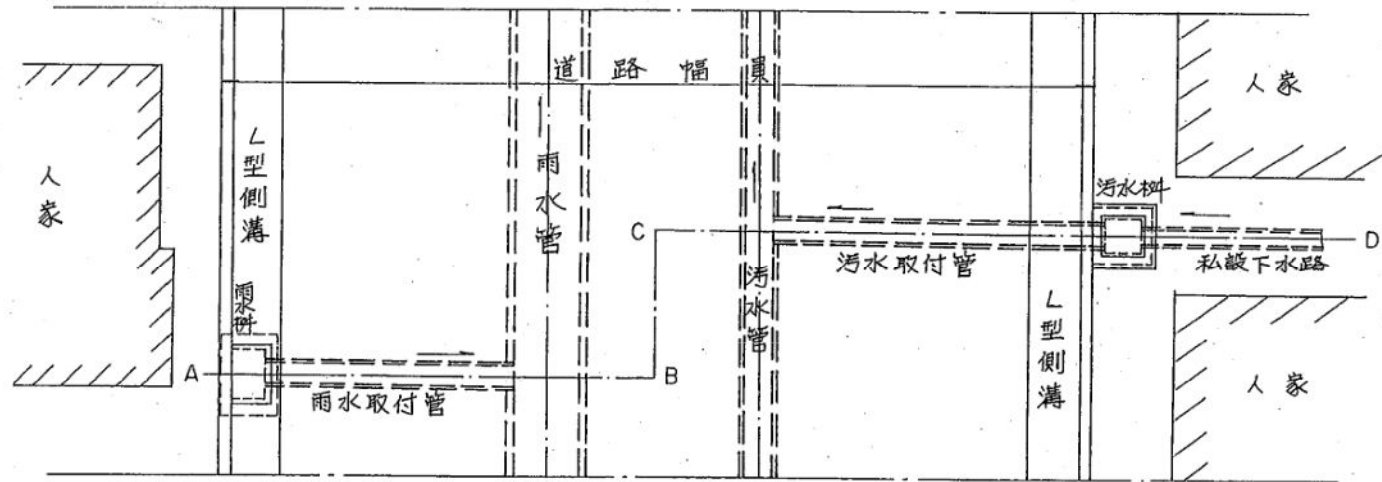
令和7年4月1日（改訂）

目		次	
分流式管渠布設一般図	・ ・ ・ ・ ・ 1	第八種人孔(内径240×240 角形)構造標準図	・ ・ ・ ・ 28
合流式管渠布設一般図	・ ・ ・ ・ ・ 2	人孔ブロック詳細図	・ ・ ・ ・ ・ 29
陶管布設標準図	・ ・ ・ ・ ・ 3	人孔インバート標準図	・ ・ ・ ・ ・ 30
B形ヒューム管布設標準図(120° コンクリート基礎)	・ ・ ・ ・ 4	組立人孔副管工基準(可とう)(塩ビ管)	・ ・ ・ ・ ・ 31
B形ヒューム管布設標準図(180° コンクリート基礎)	・ ・ ・ ・ 5	組立人孔副管工基準(可とう)(リブ管)	・ ・ ・ ・ ・ 32
C形ヒューム管布設標準図(90° コンクリート基礎)	・ ・ ・ ・ 6	取付管工	・ ・ ・ ・ ・ 33
C形ヒューム管布設標準図(120° コンクリート基礎)	・ ・ ・ ・ 7	一号雨水桝標準図	・ ・ ・ ・ ・ 34
C形ヒューム管布設標準図(180° コンクリート基礎)	・ ・ ・ ・ 8	二号雨水桝標準図	・ ・ ・ ・ ・ 35
土工・土留工標準図(1)	・ ・ ・ ・ ・ 9～10	雨水桝ブロック製作図	・ ・ ・ ・ ・ 36
分流式管渠間隔表(1)	・ ・ ・ ・ ・ 11	雨水桝鋼製蓋グレーチング	・ ・ ・ ・ ・ 37
分流式管渠間隔表(2)	・ ・ ・ ・ ・ 12	L字地先下水渠(新設・U字溝改良)標準図	・ ・ ・ ・ ・ 38
分流式管渠間隔表(3)	・ ・ ・ ・ ・ 13	雨水桝上部改良標準図	・ ・ ・ ・ ・ 39
0号組立(内径75cm 円形)人孔構造標準図	・ ・ ・ ・ 14	既設構造物標準図	・ ・ ・ ・ ・ 40～53
1号組立(第6種)(内径90cm 円形)人孔構造標準図	・ ・ ・ ・ 15		
2号組立(第5種)(内径120cm 円形)人孔構造標準図	・ ・ ・ ・ 16		
3号組立(内径150cm 円形)人孔構造標準図	・ ・ ・ ・ 17		
片楕円組立(内径600×900)人孔構造標準図	・ ・ ・ ・ 18		
両楕円組立(内径600×900)人孔構造標準図	・ ・ ・ ・ 19		
コンクリート製小型(内径300)人孔構造標準図	・ ・ ・ ・ 20		
塩ビ製小型(内径300)人孔構造標準図	・ ・ ・ ・ 21		
特1号組立(内径600×900角型)人孔構造標準図	・ ・ ・ ・ 22		
第一種人孔(内径90cm 円形)構造標準図	・ ・ ・ ・ 23		
第二種人孔(内径180×180 角形)構造標準図	・ ・ ・ ・ 24		
第三種人孔(内径150×150 角形)構造標準図	・ ・ ・ ・ 25		
第四種人孔(内径120×120 角形)構造標準図	・ ・ ・ ・ 26		
第七種人孔(内径210×210 角形)構造標準図	・ ・ ・ ・ 27		

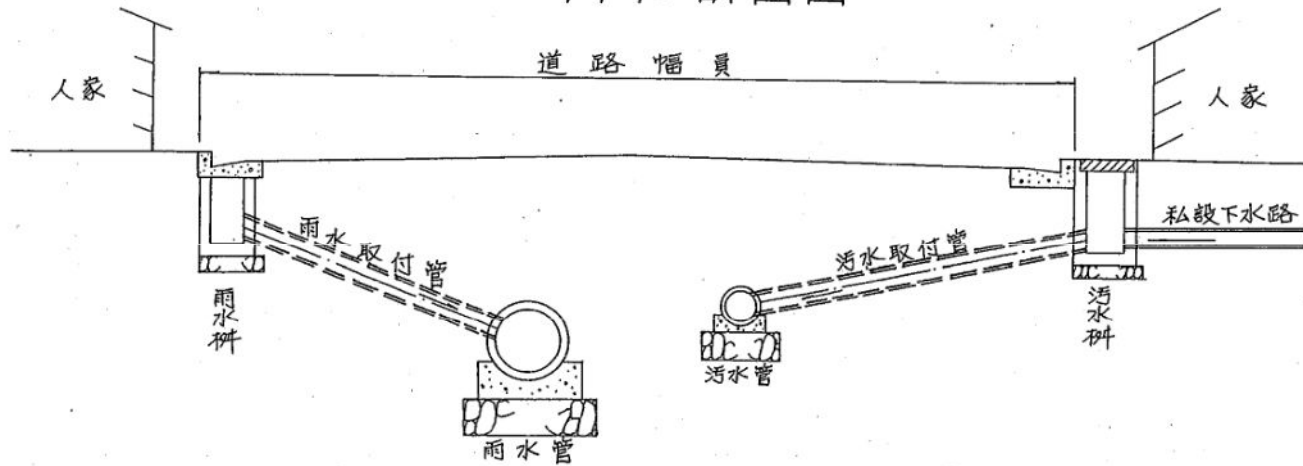
分流式管渠布設一般図

S=1:50

平面図



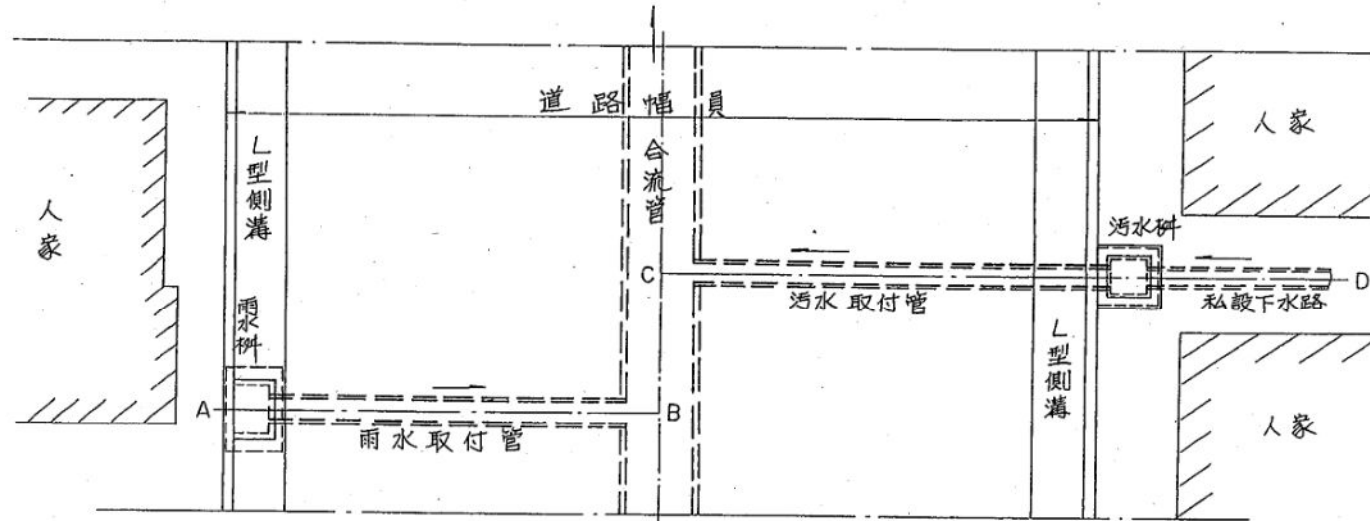
A,B,C,D 断面図



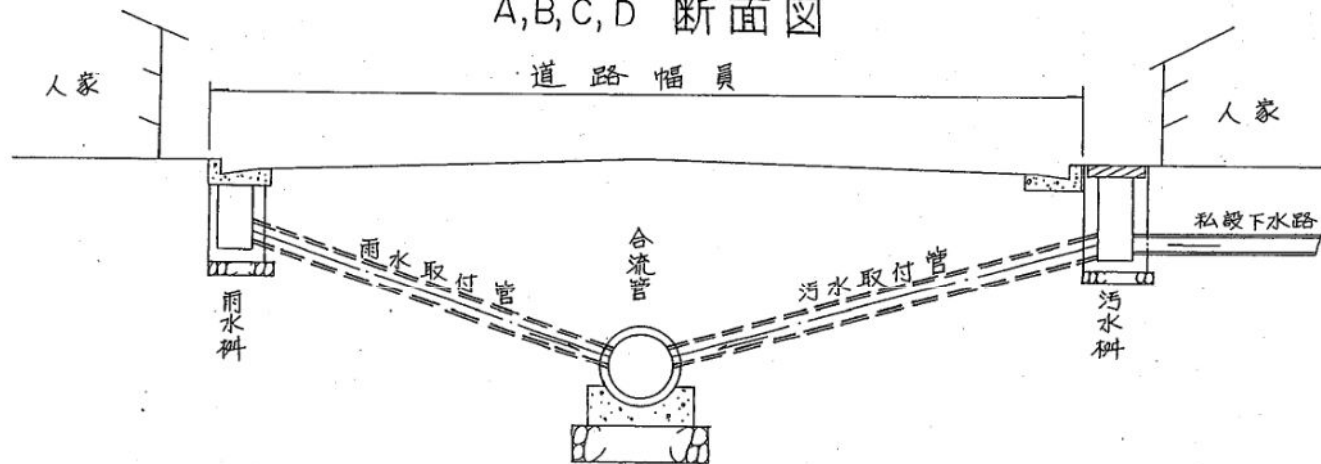
合流式管渠布設一般図

S=1:50

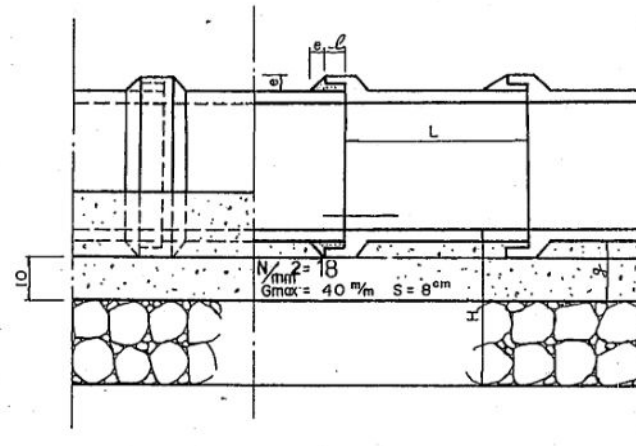
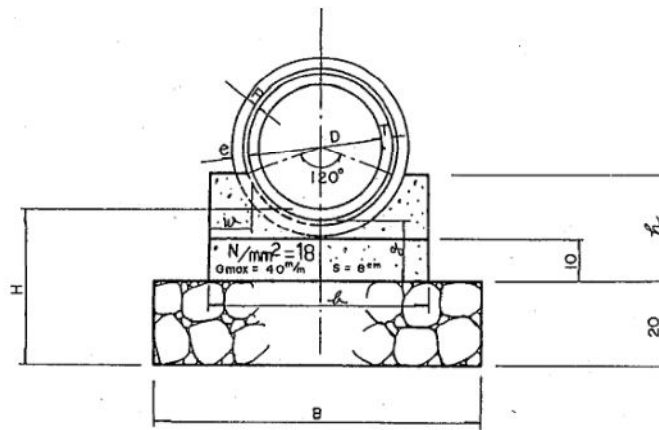
平面図



A,B,C,D 断面図

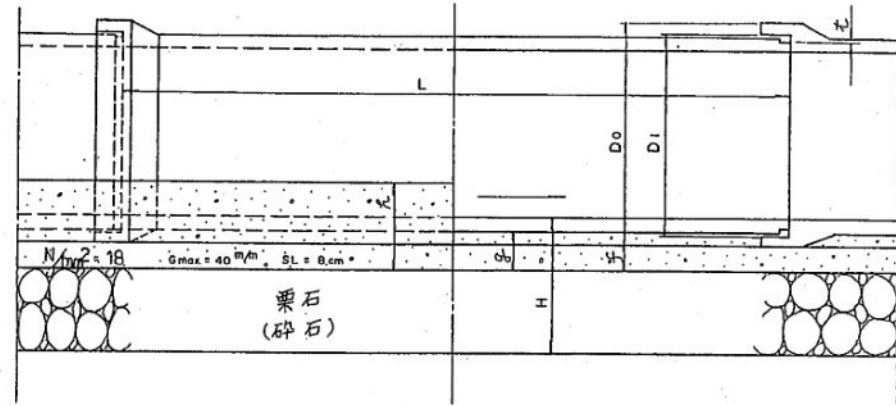
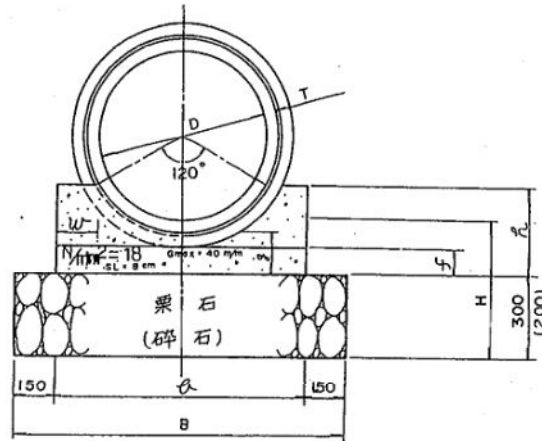


陶管布設標準図



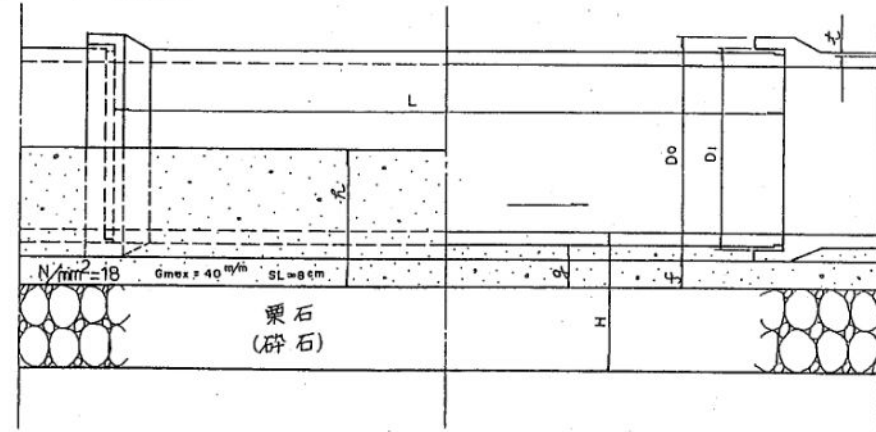
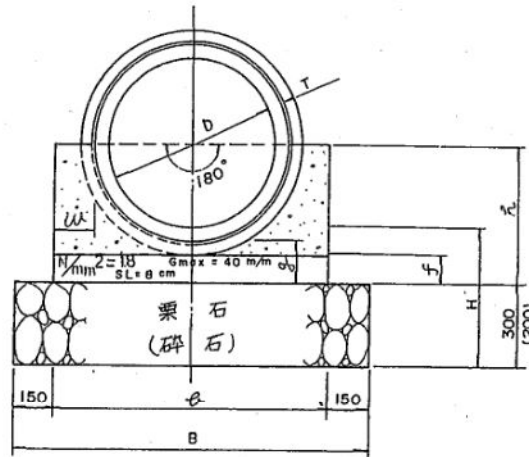
陶 管												基礎 工		管 体 工				1m 当り		
D	T	P	e	L	B	α	h	H	ℓ	u	φ	栗石	砕石	コンクリート	セメント	鉄筋	ヤーン	型枠	掘削中	(残土) 管体量
mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	m³	m³	m³	m³	kg	m²	m²	m	m³
250	24	13	37	660	850	560	210	361	65	150	137	0.170	0.031	0.102	0.0020	0.071	0.42			0.348
300	27	16	43	660	900	610	230	370	70	150	143	0.180	0.032	0.118	0.0028	0.105	0.46			0.406
380	33	20	53	660	1,000	690	260	386	75	150	153	0.200	0.036	0.144	0.0049	0.130	0.52			0.502

B型ヒューム管布設標準図 (120°コンクリート基礎)



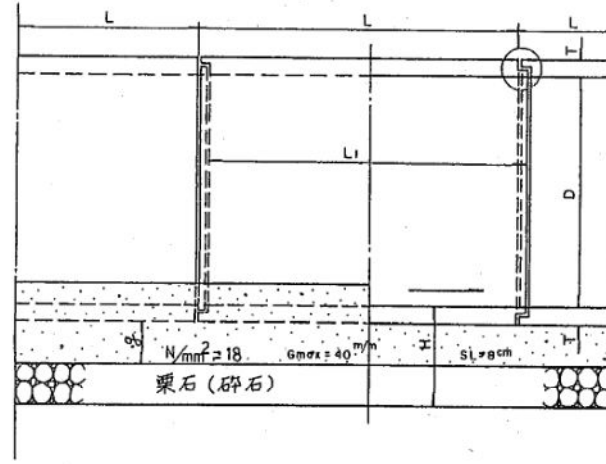
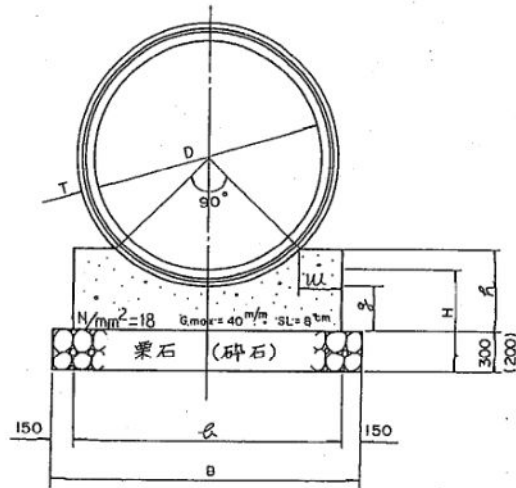
ヒューム管													基礎工		管体工			掘削巾		(残土)	
D	T	L	B	h	H	h	W	D ₀	D ₁	ε	f	g	栗石	碎石	コンクリート	モルタル	型枠		純巾	矢板巾	管体量
mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	m ³	m ³	m ³	m ³	m ²		m	m	m ³
250	28	2,000	770	470	460	210	100	370	310	4	100	132	0.231	0.154	0.0843	0.0002	0.420		1.150		0.389
300	30	〃	810	510	462	220	100	424	364	5	〃	132	0.243	0.162	0.0923	0.0002	0.440		1.200		0.437
350	32	〃	860	560	466	240	100	482	418	〃	〃	134	0.258	0.172	0.1081	0.0003	0.480		1.250		0.501
400	35	2,430	950	650	472	260	120	544	474	〃	〃	137	0.285	0.190	0.1351	0.0003	0.520		1.350		0.594
450	38	〃	1,000	700	478	270	120	606	530	〃	〃	140	0.300	0.200	0.1465	0.0004	0.540		1.400		0.664
500	42	〃	1,050	750	486	290	120	672	588	〃	〃	144	0.315	0.210	0.1651	0.0005	0.580		1.450		0.748
600	50	〃	1,210	910	502	330	150	804	704	〃	〃	152	0.363	0.242	0.2251	0.0008	0.660		1.600		0.973
700	58	〃	1,310	1,010	518	360	150	936	820	7	〃	160	0.393	0.262	0.2614	0.0013	0.720		1.700		1.177
800	66	〃	1,410	1,110	534	400	150	1,068	936	〃	〃	168	0.423	0.282	0.3106	0.0019	0.800		1.800		1.416
900	75	〃	1,610	1,310	602	490	200	1,204	1,054	〃	150	227	0.483	0.322	0.4726	0.0027	0.980		2.000		1.822
1,000	82	〃	1,710	1,410	616	530	200	1,332	1,168	〃	〃	234	0.513	0.342	0.5393	0.0035	1.060		2.200		2.116
1,100	88	〃	1,850	1,550	629	560	220	1,458	1,282	8	〃	241	0.555	0.370	0.6180	0.0046	1.120		2.350		2.452
1,200	95	〃	1,940	1,640	643	600	220	1,586	1,396	〃	〃	248	0.582	0.388	0.6873	0.0058	1.200		2.450		2.787
1,350	103	〃	2,150	1,850	659	650	250	1,768	1,562	〃	〃	256	0.645	0.430	0.8307	0.0075	1.300		2.650		3.377

B 型ヒューム管布設標準図 (180°コンクリート基礎)

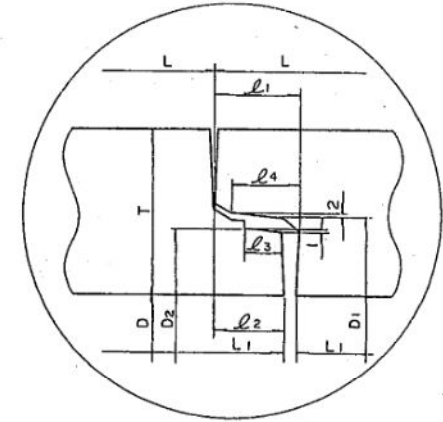


ヒューム管													基礎工		管体工			掘削巾		(残土)
D	T	L	B	φ	H	φ	ω	D0	D1	φ	f	φ	栗石	砕石	コンクリート	モルタル	型枠	純巾	矢板巾	管体量
mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	m ³	m ³	m ³	m ³	m ²	m	m	m ³
250	28	2.000	810	510	460	290	100	370	310	4	100	132	0.243	0.162	0.1111	0.0001	0.580	1.200		0.428
300	30	φ	860	560	462	310	100	424	364	5	φ	132	0.258	0.172	0.1227	0.0001	0.620	1.250		0.482
350	32	φ	910	610	466	340	100	482	418	φ	φ	134	0.273	0.182	0.1401	0.0002	0.680	1.300		0.548
400	35	2.430	1.010	710	472	370	120	544	474	φ	φ	137	0.303	0.202	0.1760	0.0002	0.740	1.400		0.652
450	38	φ	1.070	770	478	400	120	606	530	φ	φ	140	0.321	0.214	0.1993	0.0003	0.800	1.450		0.738
500	42	φ	1.120	820	486	440	120	672	588	φ	φ	144	0.336	0.224	0.2269	0.0004	0.880	1.500		0.831
600	50	φ	1.300	1.000	502	500	150	804	704	φ	φ	152	0.390	0.260	0.3076	0.0006	1.000	1.700		1.082
700	58	φ	1.420	1.120	518	570	150	936	820	7	φ	160	0.426	0.284	0.3769	0.0009	1.140	1.900		1.326
800	66	φ	1.530	1.230	534	630	150	1.068	936	φ	φ	168	0.459	0.306	0.4338	0.0014	1.260	2.050		1.575
900	75	φ	1.750	1.450	602	750	200	1.204	1.054	φ	150	227	0.525	0.350	0.6545	0.0020	1.500	2.250		2.045
1.000	82	φ	1.860	1.560	616	820	200	1.332	1.168	φ	φ	234	0.558	0.372	0.7471	0.0027	1.640	2.450		2.369
1.100	88	φ	2.020	1.720	629	880	220	1.458	1.282	8	φ	241	0.606	0.404	0.8742	0.0034	1.760	2.600		2.759
1.200	95	φ	2.130	1.830	643	940	220	1.586	1.396	φ	φ	248	0.639	0.426	0.9615	0.0043	1.880	2.750		3.118
1.350	103	φ	2.360	2.060	659	1.030	250	1.768	1.562	φ	φ	256	0.708	0.472	1.1710	0.0057	2.060	2.950		3.781

C型ヒューム管布設標準図 (90°コンクリート基礎)

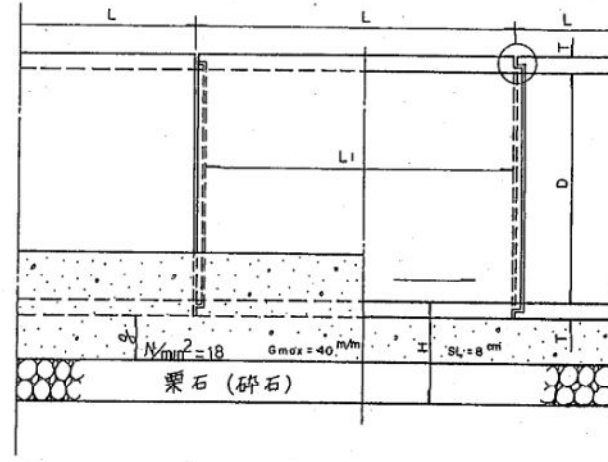
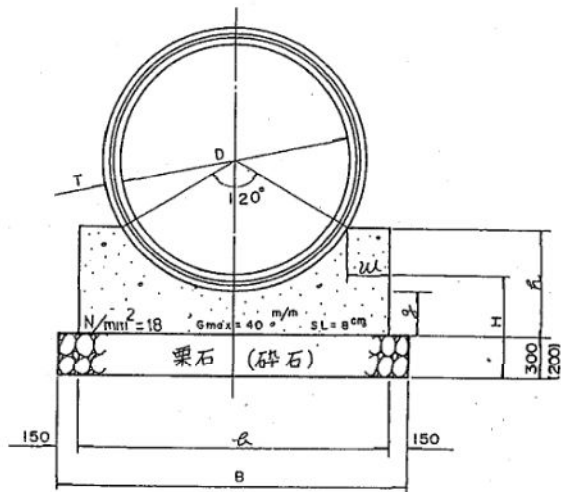


継手部

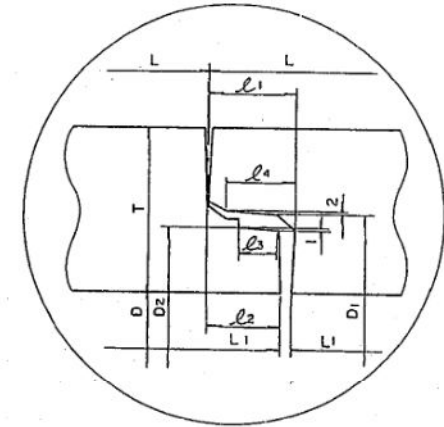


ヒューム管																基礎工		管体工		掘削巾		(残土)
D	T	L	L ₁	D ₁	D ₂	l ₁	l ₂	l ₃	l ₄	B	b	H	h	w	g	栗石	砕石	コンクリート	型枠	純巾	矢板巾	管体量
mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	m ³	m ³	m ³	m ²	m	m	m ³
1,500	112	2,360	2,352	1,604	1,588	62	52	27	49	2,020	1,720	692	530	250	280	0.606	0.404	0.6995	1.060	2,500		3.640
1,650	120	"	"	1,760	1,744	"	"	"	"	2,240	1,940	720	580	300	300	0.672	0.448	0.8703	1.160	2,750		4.348
1,800	127	"	"	1,914	1,898	"	"	"	"	2,350	2,050	745	620	300	318	0.705	0.470	0.9700	1.240	2,850		4.989
2,000	145	"	"	2,132	2,116	67	57	"	54	2,520	2,220	785	680	300	340	0.756	0.504	1.1354	1.360	3,100		6.010
2,200	160	"	"	2,342	2,326	"	"	"	"	2,780	2,480	822	730	350	362	0.834	0.556	1.3573	1.460	3,300		7.179
2,400	175	"	"	2,556	2,536	72	62	30	59	2,950	2,650	859	790	350	384	0.885	0.590	1.5539	1.580	3,550		8.378
2,600	190	"	"	2,766	2,746	"	"	"	"	3,110	2,810	896	840	350	406	0.933	0.622	1.7268	1.680	3,800		9.634
2,800	205	"	"	2,976	2,956	77	67	"	64	3,370	3,070	933	900	400	428	1.011	0.674	2.0278	1.800	4,000		11.132
3,000	220	"	"	3,186	3,166	"	"	"	"	3,530	3,230	970	950	400	450	1.059	0.706	2.2242	1.900	4,250		12.577

C型ヒューム管布設標準図 (120°コンクリート基礎)

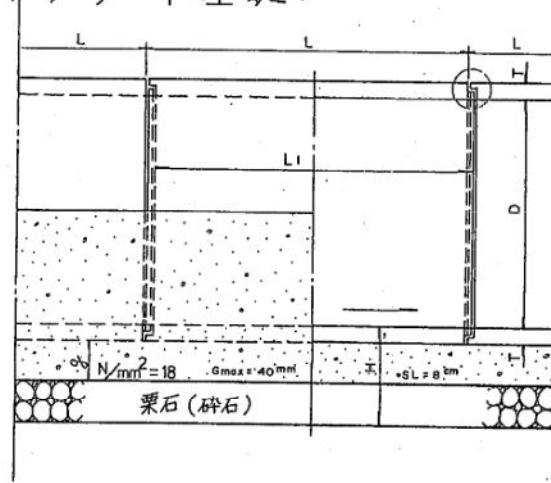
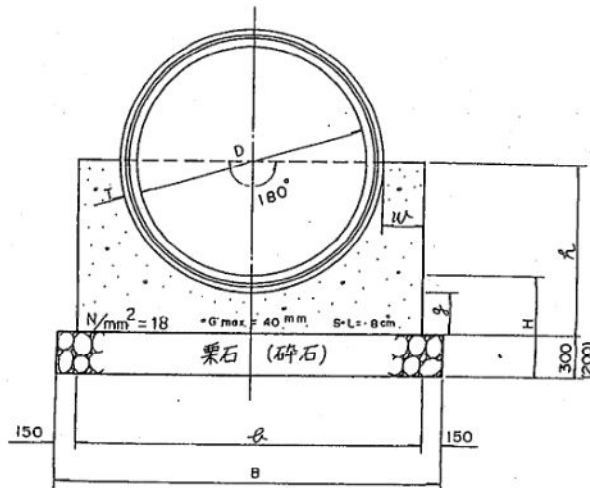


継手部

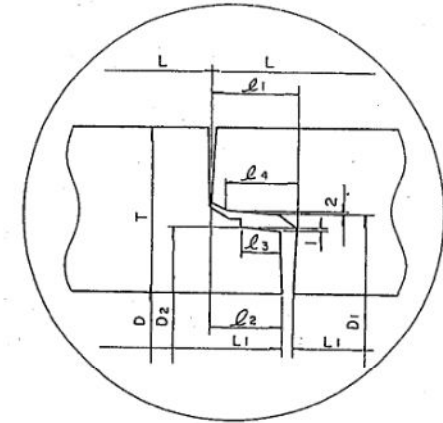


ヒ ュ ー ム 管																基礎工		管体工		掘削巾		(残土)	
D	T	L	L ₁	D ₁	D ₂	ℓ ₁	ℓ ₂	ℓ ₃	ℓ ₄	B	ℓ	H	ℓ	W	♀	栗石	砕石	コンクリート	モルタル	型枠	純巾	矢板巾	管体量
mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	m ³	m ³	m ³	m ³	m ²	m	m	m ³
1,500	112	2,360	2,352	1,604	1,588	62	52	27	49	2,290	1,990	692	710	250	280	0.687	0.458	0.9565		1,420	2,800		3.978
1,650	120	◇	◇	1,760	1,744	◇	◇	◇	◇	2,540	2,240	720	770	300	300	0.762	0.508	1.1763		1,540	3,050		4.744
1,800	127	◇	◇	1,914	1,898	◇	◇	◇	◇	2,680	2,380	745	830	300	318	0.804	0.536	1.3276		1,660	3,300		5.445
2,000	145	◇	◇	2,132	2,116	67	57	◇	54	2,880	2,580	785	910	300	340	0.864	0.576	1.5426		1,820	3,500		6.525
2,200	160	◇	◇	2,342	2,326	◇	◇	◇	◇	3,180	2,880	822	990	350	362	0.954	0.636	1.6761		1,980	3,900		7.818
2,400	175	◇	◇	2,556	2,536	72	62	30	59	3,380	3,080	859	1,070	350	384	1.014	0.676	2.1344		2,140	4,000		9.088
2,600	190	◇	◇	2,766	2,746	◇	◇	◇	◇	3,580	3,280	896	1,150	350	406	1.074	0.716	2.4084		2,300	4,300		10.457
2,800	205	◇	◇	2,976	2,956	77	67	◇	64	3,880	3,580	933	1,230	400	428	1.164	0.776	2.8212		2,460	4,600		12.078
3,000	220	◇	◇	3,186	3,166	◇	◇	◇	◇	4,080	3,780	970	1,310	400	450	1.224	0.816	3.1348		2,620	4,800		13.653

C型ヒューム管布設標準図 (180°コンクリート基礎)



継手部

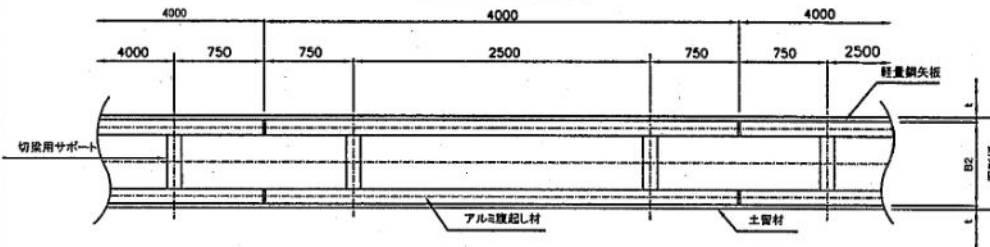


ヒ ユ ー ム 管																基礎工		管 体 工		掘削巾		(残土)	
D	T	L	L ₁	D ₁	D ₂	l ₁	l ₂	l ₃	l ₄	B	t	H	h	w	g	栗石	碎石	コンクリート	モルタル	型枠	純巾	矢板巾	管体量
mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	m ³	m ³	m ³	m ³	m ²	m	m	m ³
1.500	112	2.360	2.352	1.604	1.588	62	52	27	49	2.520	2.220	692	1.140	250	280	0.756	0.504	1.3636		2.280	3.200		4.454
1.650	120	〃	〃	1.760	1.744	〃	〃	〃	〃	2.790	2.490	720	1.250	300	300	0.837	0.558	1.7097		2.500	3.500		5.352
1.800	127	〃	〃	1.914	1.898	〃	〃	〃	〃	2.950	2.650	745	1.350	300	318	0.885	0.590	1.9207		2.700	3.650		6.119
2.000	145	〃	〃	2.132	2.116	67	57	〃	54	3.190	2.890	785	1.490	300	340	0.957	0.638	2.2467		2.980	3.900		7.322
2.200	160	〃	〃	2.342	2.326	〃	〃	〃	〃	3.520	3.220	822	1.620	350	362	1.056	0.704	2.7226		3.240	4.200		8.766
2.400	175	〃	〃	2.556	2.536	72	62	30	59	3.750	3.450	859	1.760	350	384	1.125	0.750	3.1022		3.520	4.450		10.167
2.600	190	〃	〃	2.766	2.746	〃	〃	〃	〃	3.980	3.680	896	1.900	350	406	1.194	0.796	3.5047		3.800	4.700		11.673
2.800	205	〃	〃	2.976	2.956	77	67	〃	64	4.310	4.010	933	2.030	400	428	1.293	0.862	4.0939		4.060	5.000		13.480
3.000	220	〃	〃	3.186	3.166	〃	〃	〃	〃	4.540	4.240	970	2.170	400	450	1.362	0.908	4.5538		4.340	5.250		15.210

土工・土留工標準図 (1)

軽量鋼矢板

平面図



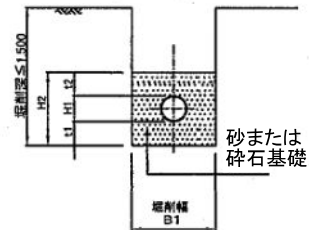
断面図

寸法表

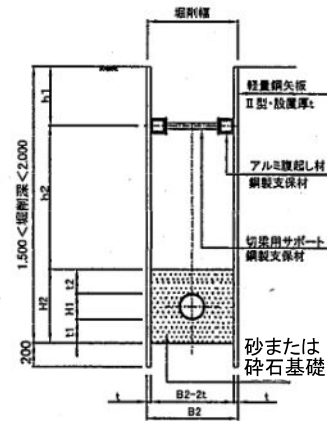
掘削深	土留材	h1	h2	h3	h4	L	t	支保工
1.500 < H ≤ 1.800	軽量鋼矢板Ⅱ型	0.5	1.3	—	—	2.00m	5.0cm	1段
1.800 < H < 2.000	軽量鋼矢板Ⅱ型	0.5	1.5	—	—	2.50m	5.0cm	1段
2.000 ≤ H ≤ 2.300	軽量鋼矢板Ⅱ型	0.5	0.9	0.9	—	2.50m	5.0cm	2段
2.300 < H ≤ 2.800	軽量鋼矢板Ⅱ型	0.5	1.1	1.2	—	3.00m	5.0cm	2段
2.800 < H ≤ 3.300	軽量鋼矢板Ⅱ型	0.5	1.4	1.4	—	3.50m	5.0cm	2段
3.300 < H ≤ 3.500	軽量鋼矢板Ⅱ型	0.5	1.1	1.1	—	4.00m	5.0cm	2段
3.500 < H ≤ 3.800	軽量鋼矢板Ⅱ型	0.5	1.1	1.1	1.1	4.00m	5.0cm	3段

素掘り

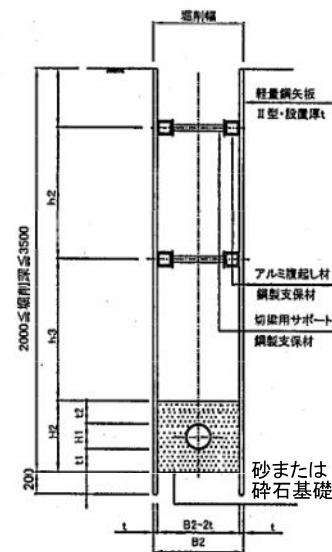
H ≤ 1.500



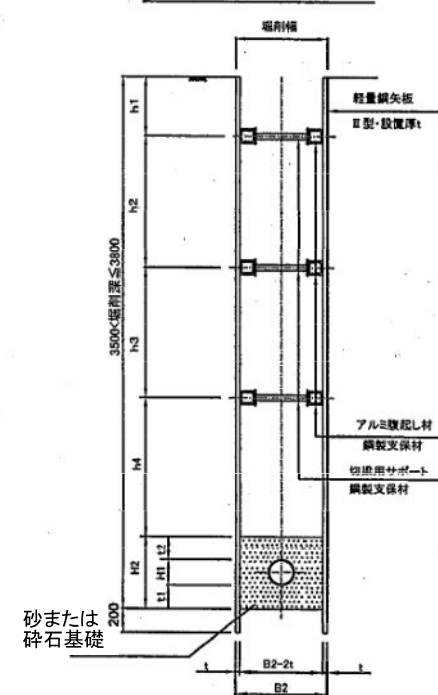
掘削深 1.500 < H < 2.000



掘削深 2.000 ≤ H ≤ 3.500



掘削深 3.500 < H ≤ 3.800



硬質塩化ビニル(VU)管標準寸法						
内径	外径	基礎厚	保護厚	砂埋戻高	素堀幅	矢板外幅
150	165	100	100	365	550	850
200	216	100	100	416	700	900
250	267	150	100	517	800	950
300	318	150	100	568	850	1000
350	370	150	100	620	900	1050
400	420	150	100	670	1000	1100
450	470	150	100	720	1050	1150
500	520	200	100	820	1100	1200
600	630	200	100	930	1200	1300

リブ付硬質塩化ビニル(PRP)管標準寸法						
内径	外径	基礎厚	保護厚	碎石基礎高	素堀幅	矢板外幅
150	156	100	100	356	550	850
200	206	100	100	406	700	900
250	257	150	100	507	800	950
300	308	150	100	558	850	1000
350	358	150	100	608	900	1050
400	408	150	100	658	1000	1100
450	458	150	100	708	1050	1150

強化プラスチック複合(FRPM)管標準寸法				
内径	外径	基礎厚	砂埋戻高	矢板外幅
600	624	200	824	1300
700	728	200	928	1400
800	832	200	1032	1500
900	936	200	1136	1600
1000	1040	200	1240	1700
1100	1144	300	1444	1800
1200	1248	300	1548	1900
1350	1404	300	1704	2100

B形ヒューム(HP)管標準寸法					
内径	外径	基礎厚	保護厚	砂・碎石埋戻高	矢板外幅
600	704	100	300	1104	1400
700	820	100	300	1220	1500
800	936	100	300	1336	1600
900	1054	100	300	1454	1750
1000	1168	100	300	1568	1850
1100	1282	200	300	1782	1950
1200	1396	200	300	1896	2050
1350	1562	200	300	2062	2250

分流式管渠間隔表 (1)

●汚水管 (φ200mm~φ350mm)

管種 : 陶管・ヒューム管

基礎 : 碎石・コンクリート90° , 120° 基礎
梯子胴木基礎

人孔 : 円形人孔 (中間人孔)

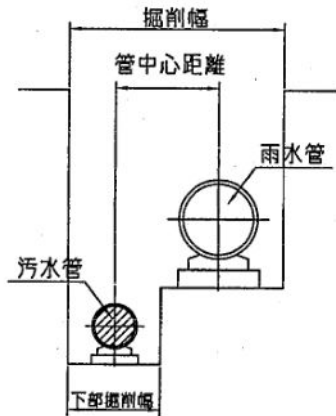
○雨水管 (φ250mm~φ1800mm)

管種 : 陶管・ヒューム管

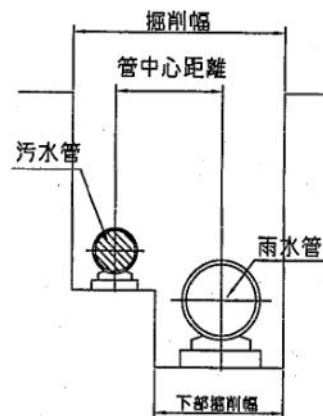
基礎 : 碎石・コンクリート90° , 120° 基礎
梯子胴木基礎

人孔 : 円形人孔 (中間人孔)

(1) 汚水管が深い又は
雨水管と同じ場合



(2) 汚水管が浅い場合



基準掘削幅

(単位: mm)

管径	管種・ヒューム管 (B形)	汚水管 (陶管・ヒューム管B形)							
		φ200		φ250		φ300		φ350	
		基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離
φ250	陶管・ヒューム管 (B形)	1875	900	1900	900	1925	900	2000	950
φ300	陶管・ヒューム管 (B形)	1900	900	1925	900	1950	900	2025	950
φ350	陶管・ヒューム管 (B形)	1975	950	2000	950	2025	950	2050	950
φ400	陶管・ヒューム管 (B形)	2000	950	2025	950	2050	950	2075	950
φ450	陶管・ヒューム管 (B形)	2075	1000	2100	1000	2125	1000	2150	1000
φ500	陶管・ヒューム管 (B形)	2150	1050	2175	1050	2200	1050	2225	1050
φ600	陶管・ヒューム管 (B形)	2275	1100	2300	1100	2325	1100	2350	1100
φ700	陶管・ヒューム管 (B形)	2375	1150	2400	1150	2425	1150	2450	1150
φ800	陶管・ヒューム管 (B形)	2525	1250	2550	1250	2575	1250	2600	1250
φ900	陶管・ヒューム管 (B形)	2650	1300	2675	1300	2700	1300	2725	1300
φ1000	陶管・ヒューム管 (B形)	2750	1350	2775	1350	2800	1350	2825	1350
φ1100	陶管・ヒューム管 (B形)	2900	1450	2925	1450	2950	1450	2975	1450
φ1200	陶管・ヒューム管 (B形)	3000	1500	3025	1500	3050	1500	3075	1500
φ1350	陶管・ヒューム管 (B形)	3200	1600	3225	1600	3250	1600	3275	1600
φ1500	N C 形	3300	1600	3325	1600	3350	1600	3375	1600
φ1650	N C 形	3500	1700	3525	1700	3550	1700	3575	1700
φ1800	N C 形	3625	1750	3650	1750	3675	1750	3700	1750

注) 1. 掘削幅の修正 (掘削幅は仮設種類により修正した値とする)

①LSP-I : 掘削幅は矢板の外側周とする
②LSP-II, LSP-III, SP-II, SP-III : 掘削幅は矢板の中心周とする

③H 鋼 : 掘削幅は矢板の内側周とする

2. 梯子胴木基礎は碎石・コンクリート90°基礎と同じ掘削幅とする

仮設種類	掘削幅 (片側)
LSP-I, II	基準掘削幅
LSP-III	基準掘削幅 + 50
SP-II	基準掘削幅 + 100
SP-III	基準掘削幅 + 125
H 鋼	基準掘削幅

分流式管渠間隔表 (2)

●汚水管 (φ 150mm~φ 300mm)

管種 : 塩ビ管・強プラ管

基礎 : 砂基礎

人孔 : 円形人孔 (中間人孔)

○雨水管 (φ 250mm~φ 1800mm)

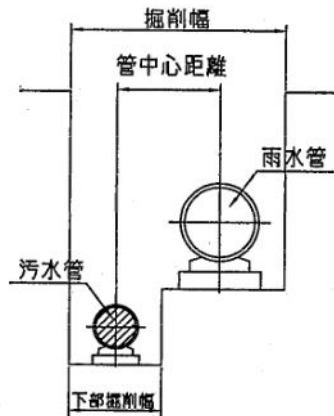
管種 : 陶管・ヒューム管

基礎 : 碎石・コンクリート 90° , 120° 基礎

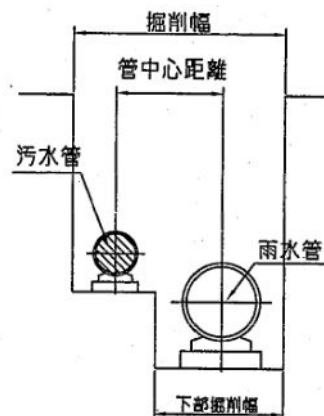
梯子胴木基礎

人孔 : 円形人孔 (中間人孔)

(1) 汚水管が深い又は
雨水管と同じ場合



(2) 汚水管が浅い場合



基準掘削幅

(単位: mm)

管径	管種	汚水管 (塩ビ管)							
		φ 150		φ 200		φ 250		φ 300	
		基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離
φ 250	雨水管 (ヒューム管・陶管)	1825	900	1850	900	1875	900	1900	900
φ 300		1850	900	1875	900	1900	900	1925	900
φ 350		1925	950	1950	950	1975	950	2000	950
φ 400		1950	950	1975	950	2000	950	2025	950
φ 450		2025	1000	2050	1000	2075	1000	2100	1000
φ 500		2050	1000	2075	1000	2150	1050	2175	1050
φ 600		2225	1100	2250	1100	2275	1100	2300	1100
φ 700		2325	1150	2350	1150	2375	1150	2400	1150
φ 800		2475	1250	2500	1250	2525	1250	2550	1250
φ 900		2600	1300	2625	1300	2650	1300	2675	1300
φ 1000		2700	1350	2725	1350	2750	1350	2775	1350
φ 1100		2850	1450	2875	1450	2900	1450	2925	1450
φ 1200		2950	1500	2975	1500	3000	1500	3025	1500
φ 1350		3150	1600	3175	1600	3200	1600	3225	1600
φ 1500	N C 形	3250	1600	3275	1600	3300	1600	3325	1600
φ 1650		3450	1700	3475	1700	3500	1700	3525	1700
φ 1800		3575	1750	3600	1750	3625	1750	3650	1750

注) 1. 掘削幅の修正 (掘削幅は仮設種類により修正した値とする)

① LSP-I : 掘削幅は矢板の外側周とする

② LSP-II, LSP-III, SP-II, SP-III : 掘削幅は矢板の中心間とする

③ H 鋼 : 掘削幅は矢板の内側周とする

2. 梯子胴木基礎は碎石・コンクリート 90° 基礎と同じ掘削幅とする

仮設種類	掘削幅 (片側)
LSP-I, II	基準掘削幅
LSP-III	基準掘削幅 + 50
SP-II	基準掘削幅 + 100
SP-III	基準掘削幅 + 125
H 鋼	基準掘削幅

分流式管渠間隔表 (3)

●汚水管 (φ150mm~φ300mm)

管種 : 塩ビ管・強ブラ管

基礎 : 砂基礎

人孔 : 円形人孔 (中間人孔)

○雨水管 (φ250mm~φ1800mm)

管種 : 塩ビ管・強ブラ管

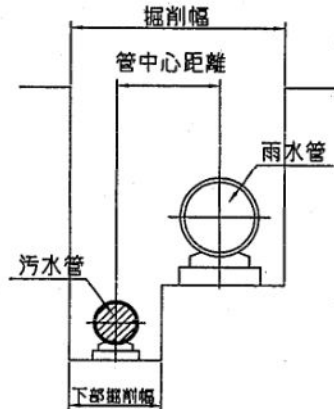
基礎 : 砂基礎

人孔 : 円形人孔 (中間人孔)

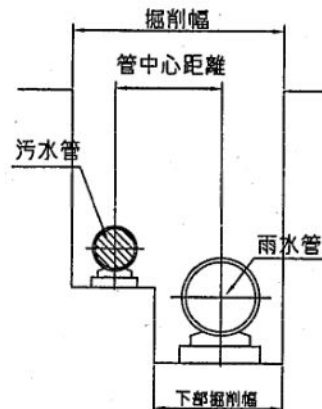
基準掘削幅

(単位: mm)

(1) 汚水管が深い又は
雨水管と同じ場合



(2) 汚水管が浅い場合



管径	汚水管 (塩ビ管)							
	φ150		φ200		φ250		φ300	
	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離
塩ビ管								
φ250	1750	850	1775	850	1800	850	1875	900
φ300	1825	900	1850	900	1875	900	1900	900
φ350	1850	900	1875	900	1900	900	1925	900
φ400	1925	950	1950	950	1975	950	2000	950
φ450	1950	950	1975	950	2000	950	2025	950
φ500	2025	1000	2050	1000	2075	1000	2100	1000
φ600	2125	1050	2150	1050	2175	1050	2200	1050
φ700	2225	1100	2250	1100	2275	1100	2300	1100
φ800	2325	1150	2350	1150	2375	1150	2400	1150
φ900	2425	1200	2450	1200	2475	1200	2500	1200
φ1000	2525	1250	2550	1250	2575	1250	2600	1250
φ1100	2625	1300	2650	1300	2675	1300	2700	1300
φ1200	2775	1400	2800	1400	2825	1400	2850	1400
φ1350	2925	1450	2950	1450	2975	1450	3000	1450
φ1500	3100	1550	3125	1550	3150	1550	3175	1550
φ1650	3225	1600	3250	1600	3275	1600	3300	1600
φ1800	3400	1700	3425	1700	3450	1700	3475	1700
強ブラ管								

注) 1. 掘削幅の修正 (掘削幅は仮設種類により修正した値とする)

①LSP-I : 掘削幅は矢板の外側周とする

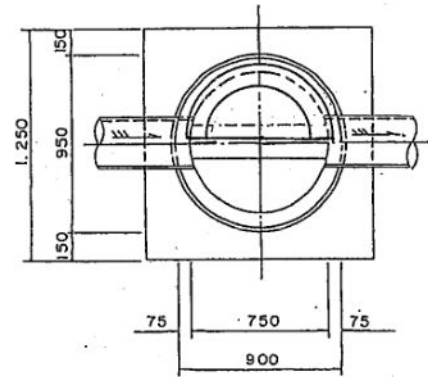
②LSP-II, LSP-III, SP-II, SP-III : 掘削幅は矢板の中心周とする

③H 鋼 : 掘削幅は矢板の内側周とする

2. 梯子胴木基礎は砕石・コンクリート90°基礎と同じ掘削幅とする

仮設種類	掘削幅 (片側)
LSP-I, II	基準掘削幅
LSP-III	基準掘削幅 + 50
SP-II	基準掘削幅 + 100
SP-III	基準掘削幅 + 125
H 鋼	基準掘削幅

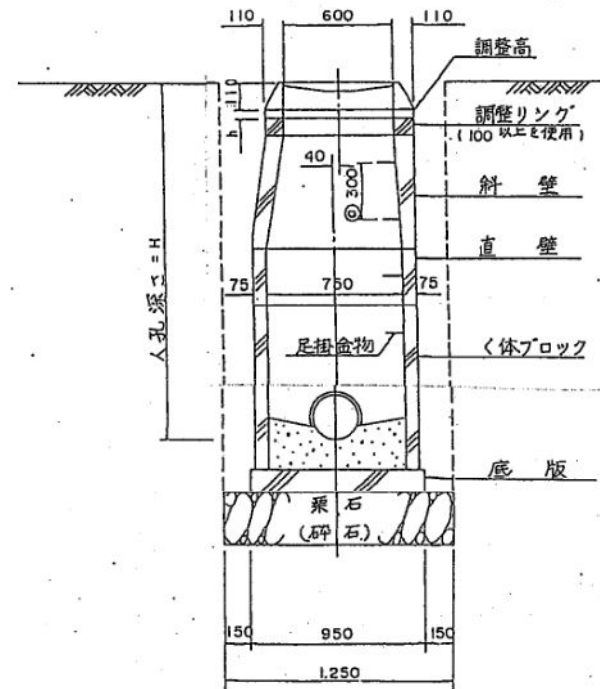
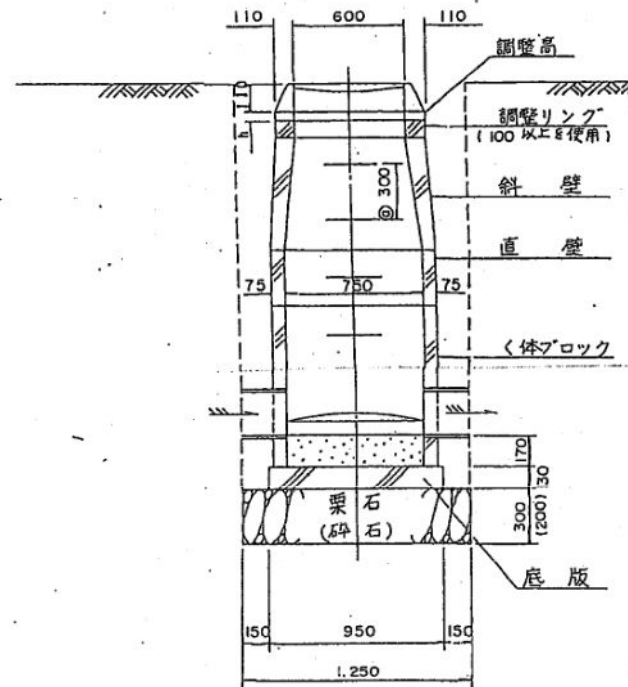
○号組立 (内径 75 cm円形) 人孔構造標準図



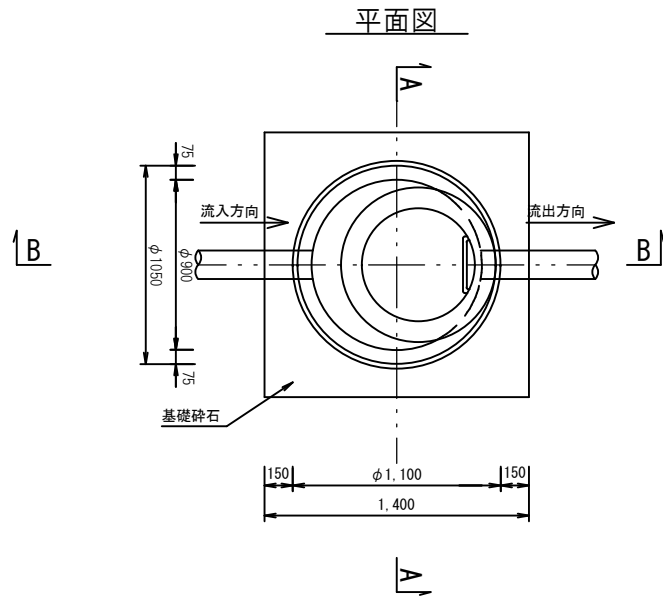
用途： 小規模な排水又は起点。他の構造物等の制約から
1号マンホールが設置できない場合。

注) 足掛金物の設置について

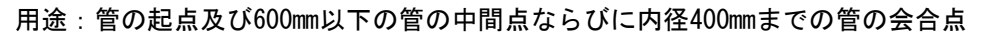
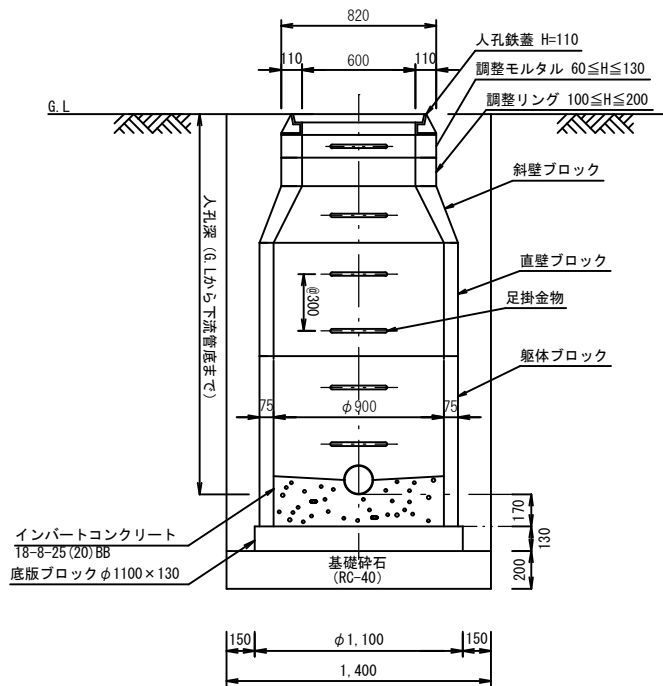
- ①鉄蓋のロック部分に干渉しないこと
- ②将来流入が見込まれない箇所、または、下流側へ設置すること



1号組立人孔（内径900mm円形）人孔構造標準図



断面図 A-A



注1) 足掛金物の設置について

- ②将来流入が見込まれない箇所、または、下流側へ設置すること

注2) 内副管の設置本数について

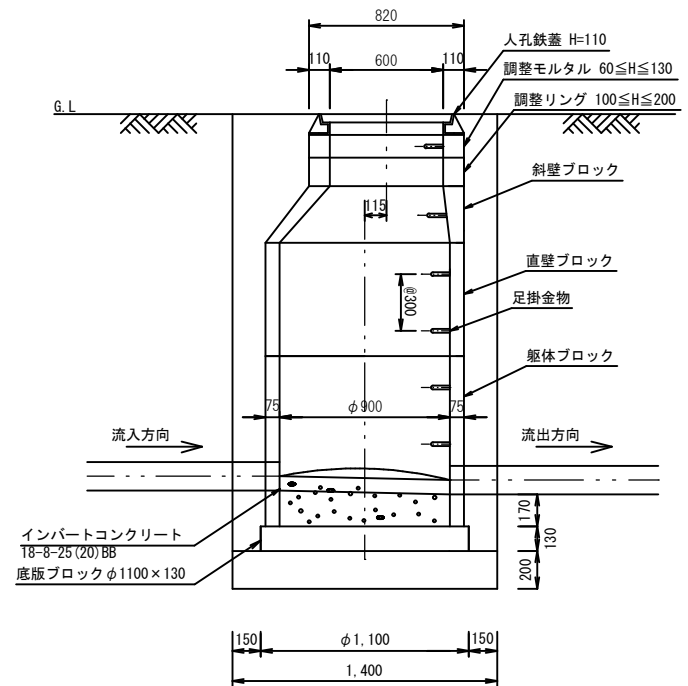
人孔内の内副管設置本数は1本まで

注3) 適用深さについて

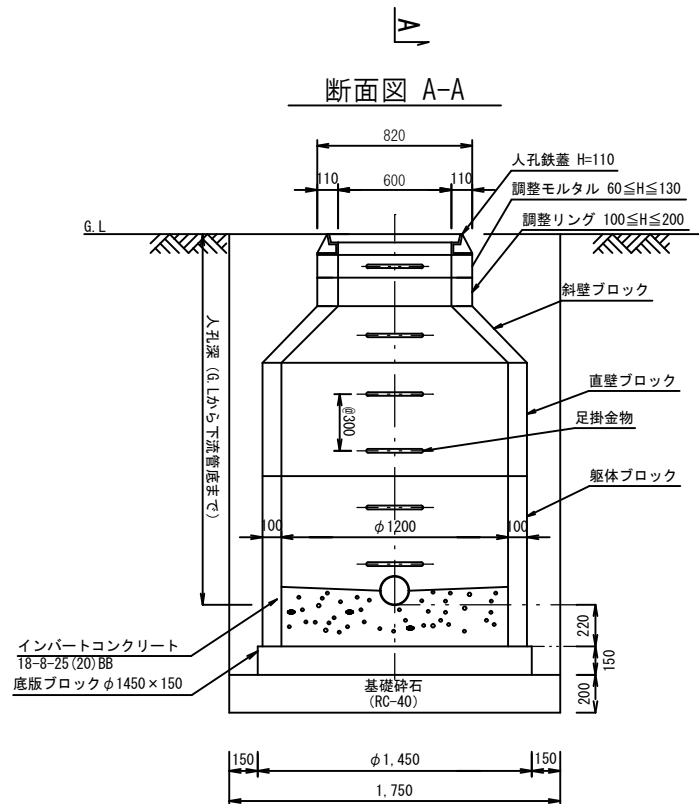
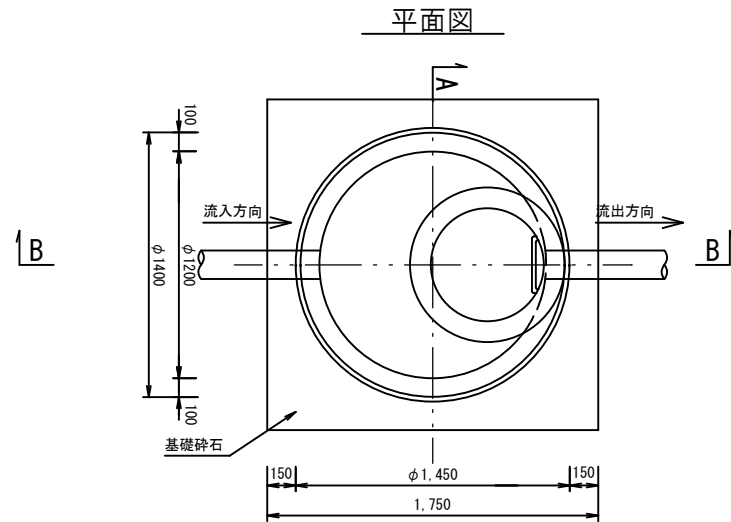
人孔埋設深さ（G.Lから底版ブロック下面まで）が5mを超える場合は1号人孔が使用不可のため、深型人孔（Ⅱ種）とすること

注4) 上記注意事項を遵守できない場合は「管路管理課」と協議すること

断面図 B-B



2号組立人孔（内径1200mm円形）人孔構造標準図



用途：管の起点及び900mm以下の管の中間点ならびに内径500mmまでの管の会合点

注1) 足掛金物の設置について

①鉄蓋のロック部分に干渉しないこと

②将来流入が見込まれない箇所、または、下流側へ設置すること

注2) 内副管の設置本数について

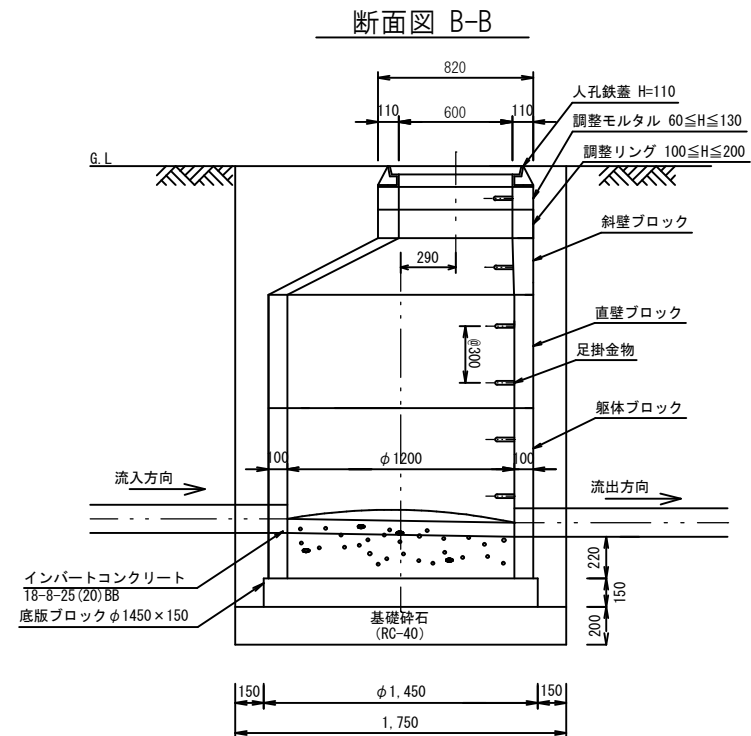
人孔内の内副管設置本数は2本まで

注3) 適用深さについて

人孔埋設深さ（G.L.から底版ブロック下面まで）が5mを超える場合は

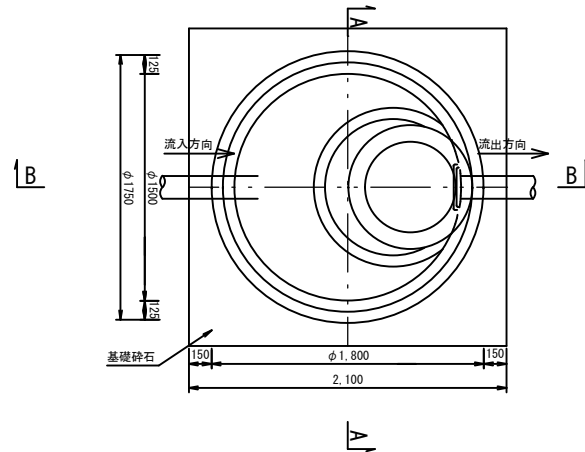
深型人孔（Ⅱ種）とすること

注4) 上記注意事項を遵守できない場合は「管路管理課」と協議すること

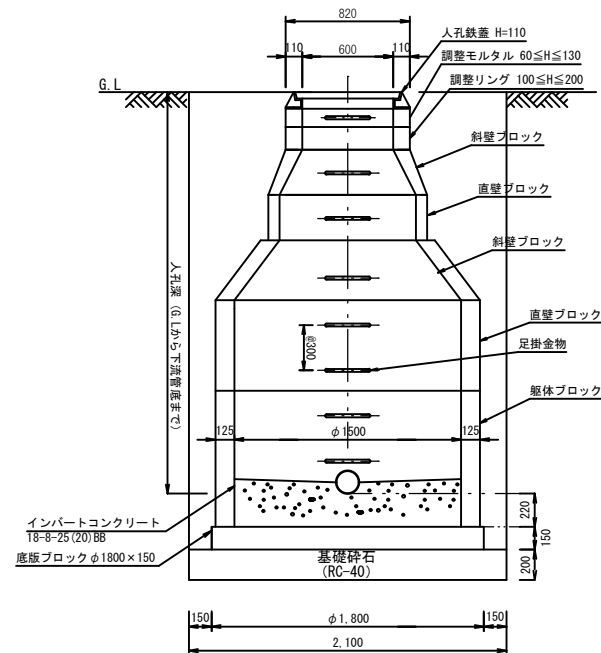


3号組立人孔（内径1500mm円形）人孔構造標準図

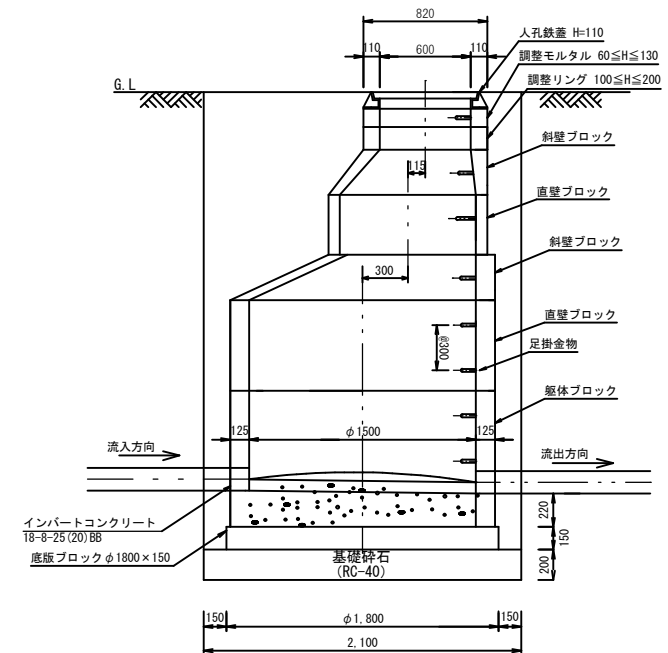
平面図



断面図 A-A



断面図 B-B



用途：管の起点及び1,100mm以下の管の中間点ならびに内径700mmまでの管の会合点

注1) 足掛金物の設置について

①鉄蓋のロック部分に干渉しないこと

②将来流入が見込まれない箇所、または、下流側へ設置すること

注2) 内副管の設置本数について

人孔内の内副管設置本数は3本まで

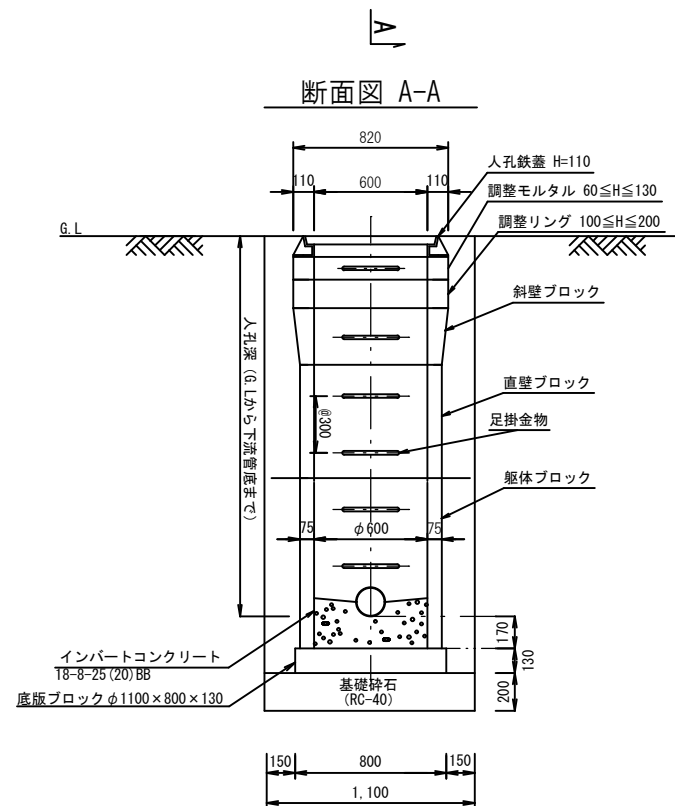
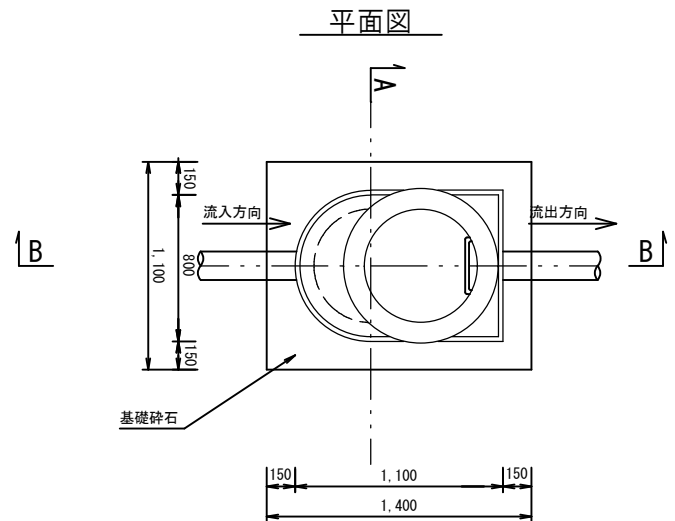
注3) 適用深さについて

人孔埋設深さ（G.Lから底版ブロック下面まで）が5mを超える場合は

深型人孔（Ⅱ種）とすること

注4) 上記注意事項を遵守できない場合は「管路管理課」と協議すること

片楕円組立人孔（内径600mm×900mm）人孔構造標準図



用途：1号人孔の設置が困難な場合

注1) 足掛金物の設置について

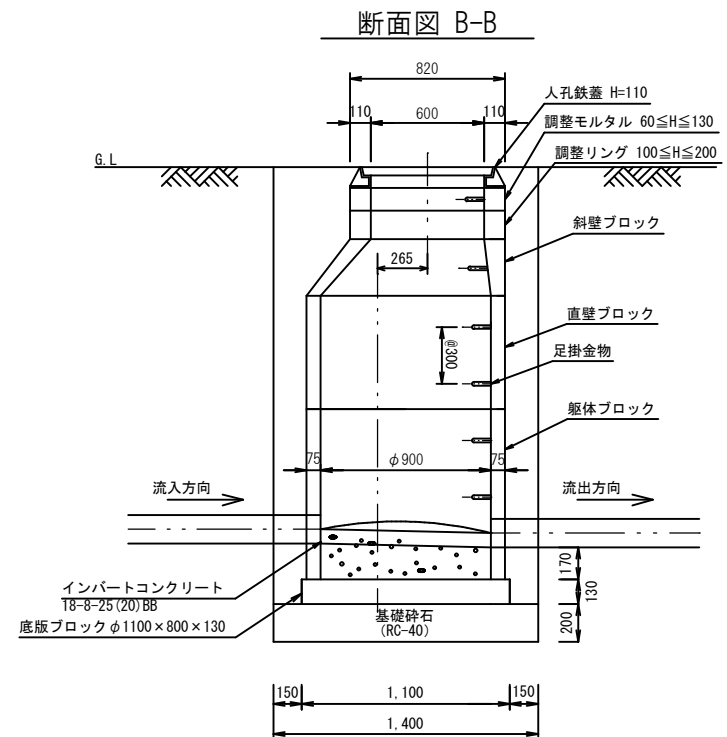
①鉄蓋のロック部分に干渉しないこと

②将来流入が見込まれない箇所、または、下流側へ設置すること

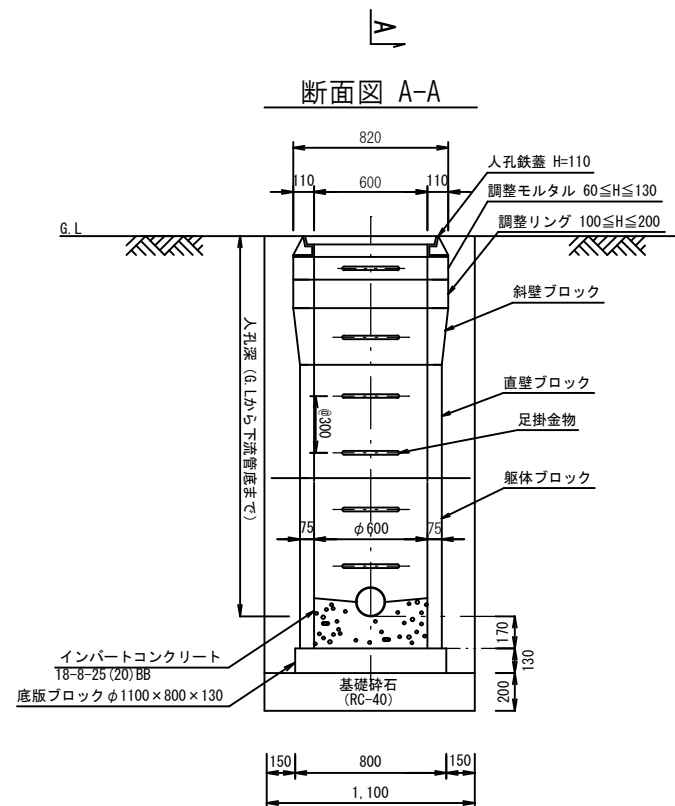
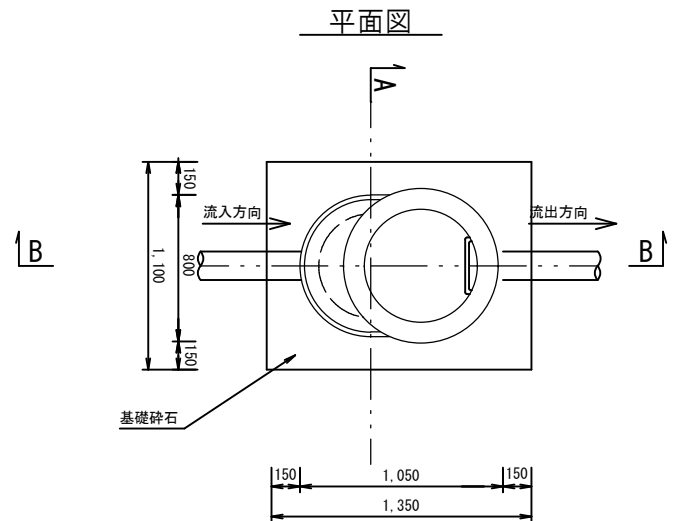
注2) 内副管の設置について

人孔内の内副管設置本数は1本までとし、短辺方向からの設置とすること

注3) 上記注意事項を遵守できない場合は「管路管理課」と協議すること



両楕円組立人孔（内径600mm×900mm）人孔構造標準図



用途：1号人孔の設置が困難な場合

注1) 足掛金物の設置について

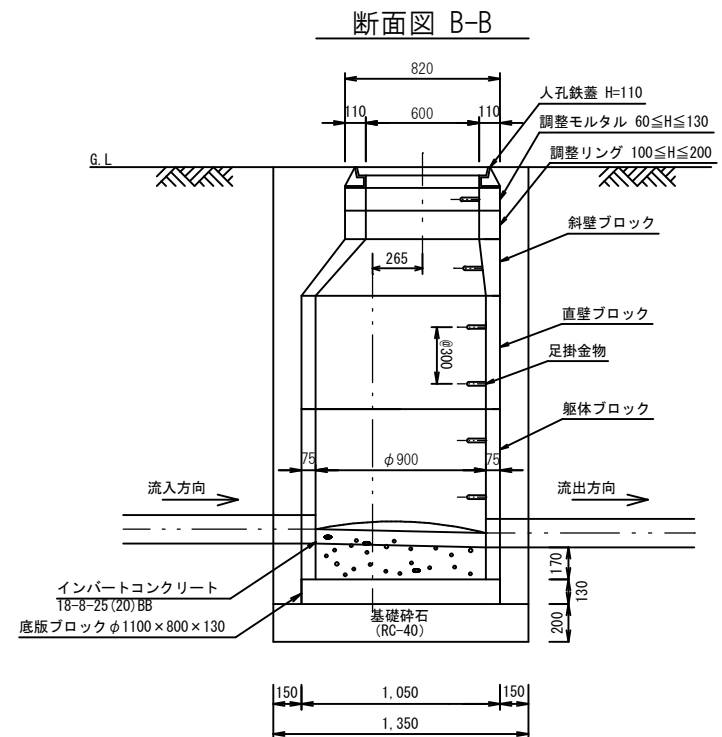
①鉄蓋のロック部分に干渉しないこと

②将来流入が見込まれない箇所、または、下流側へ設置すること

注2) 内副管の設置について

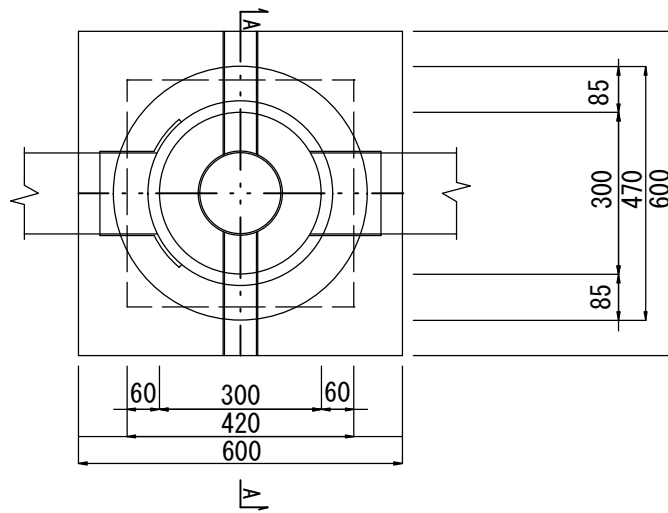
人孔内の内副管設置本数は1本までとし、短辺方向からの設置とすること

注3) 上記注意事項を遵守できない場合は「管路管理課」と協議すること



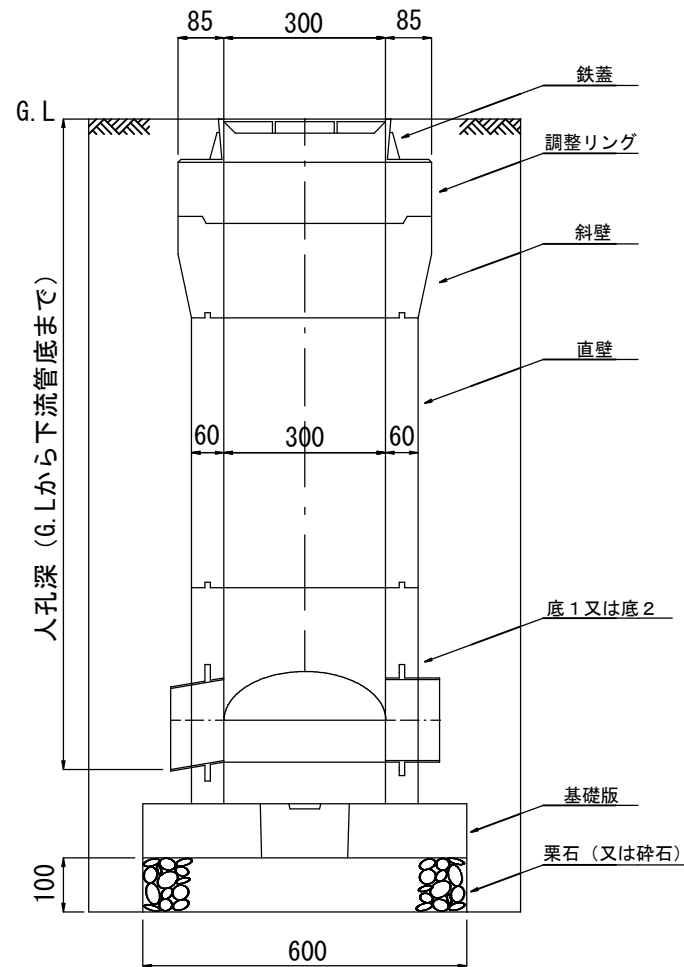
コンクリート製小型（内径300mm円形）人孔構造標準図

平面図

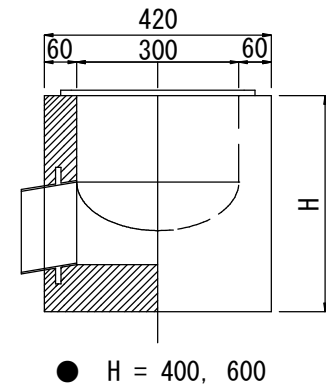


用途：起点部・中間部及び今後流入の見込まれない末端部で、
 屈曲角度が30°以下及び人孔深が2.0m以下の場合

断面図 A-A

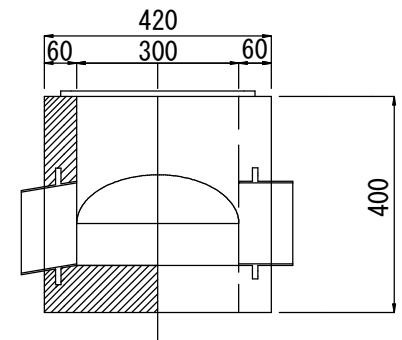


底1



● H = 400, 600

底2

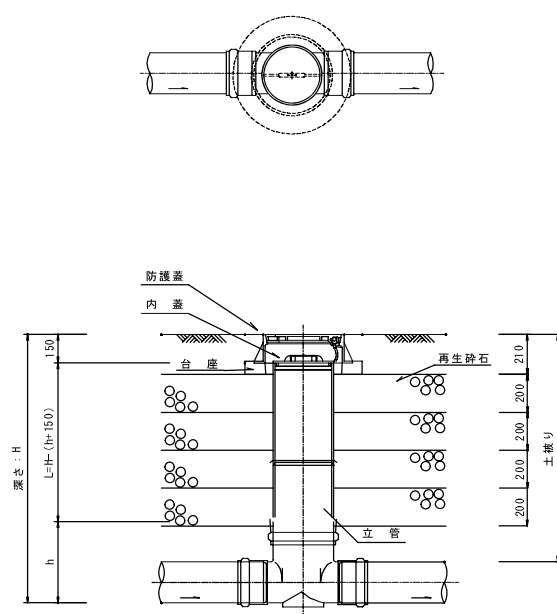


塩ビ製小型人孔構造図 (本管：VU 又は PRP)

φ 300-150
(200) ※ () 内 本管 200用

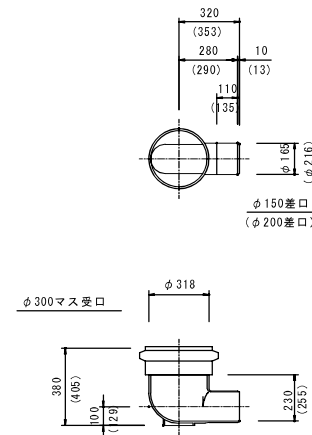
用途：起点部・中間部及び今後流入の見込まれない末端部で、
屈曲角度が30°以下及び人孔深が2.0m以下の場合

設置標準図

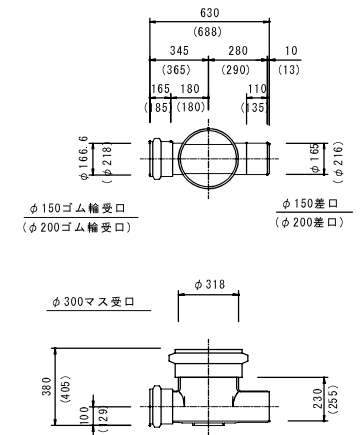


※防護蓋の下は、沈下の恐れがあるため、入念に締固めを行うこと。

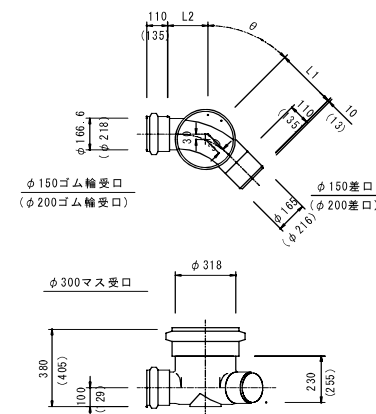
起 点



ストレート



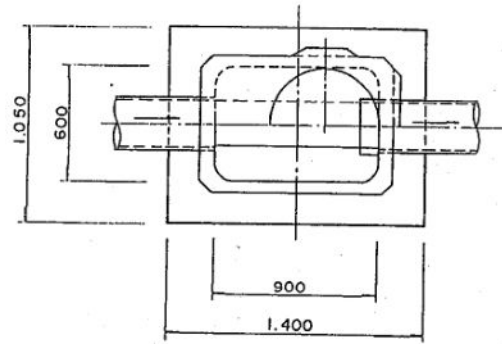
曲点インバート



単位：mm

略 号	300-150		300-200	
	L1	L2	L1	L2
15°	290	190	290	(リブ) 190 200
30°	290	190	290	(リブ) 195 200

特1号組立(内径 600cm X 900cm 角形)人孔構造標準図



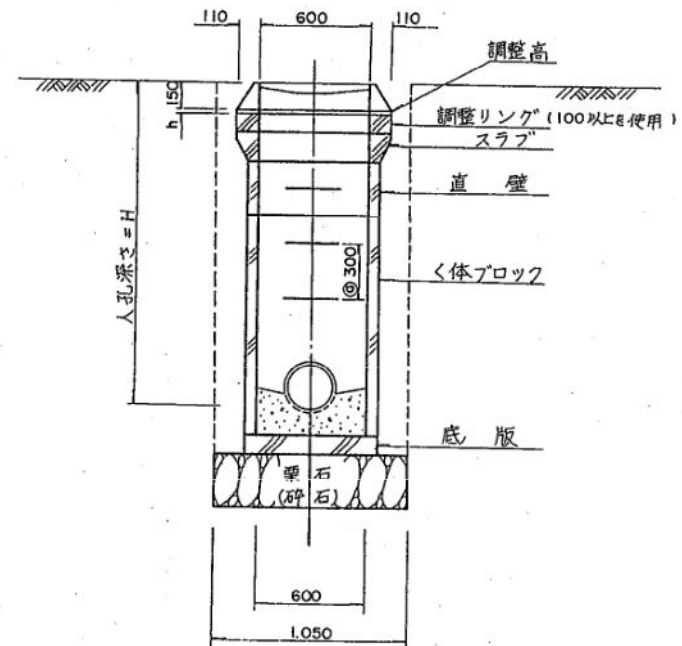
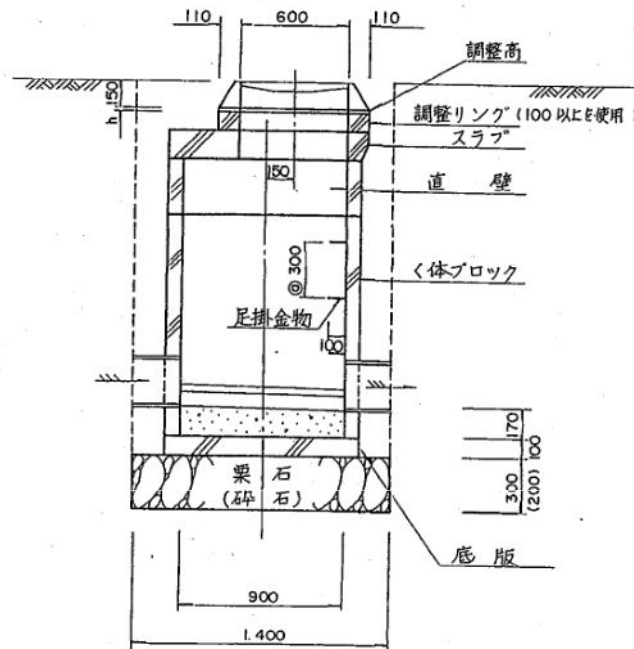
用途：土かぶりがない場合、他の埋設物等の関係等て

1号マンホールが設置できない場合。

注) 足掛金物の設置について

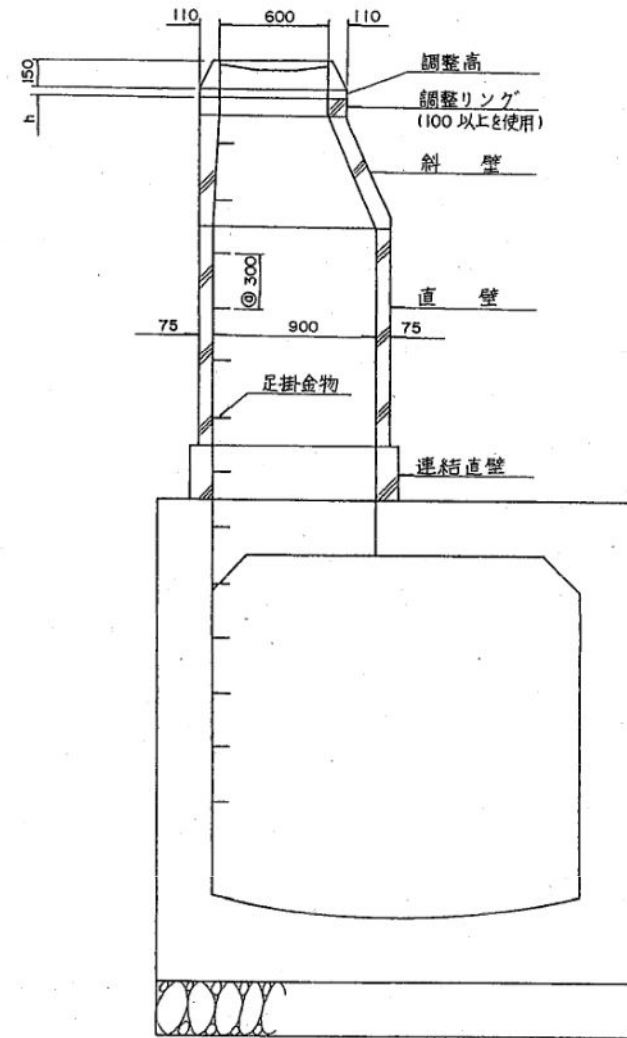
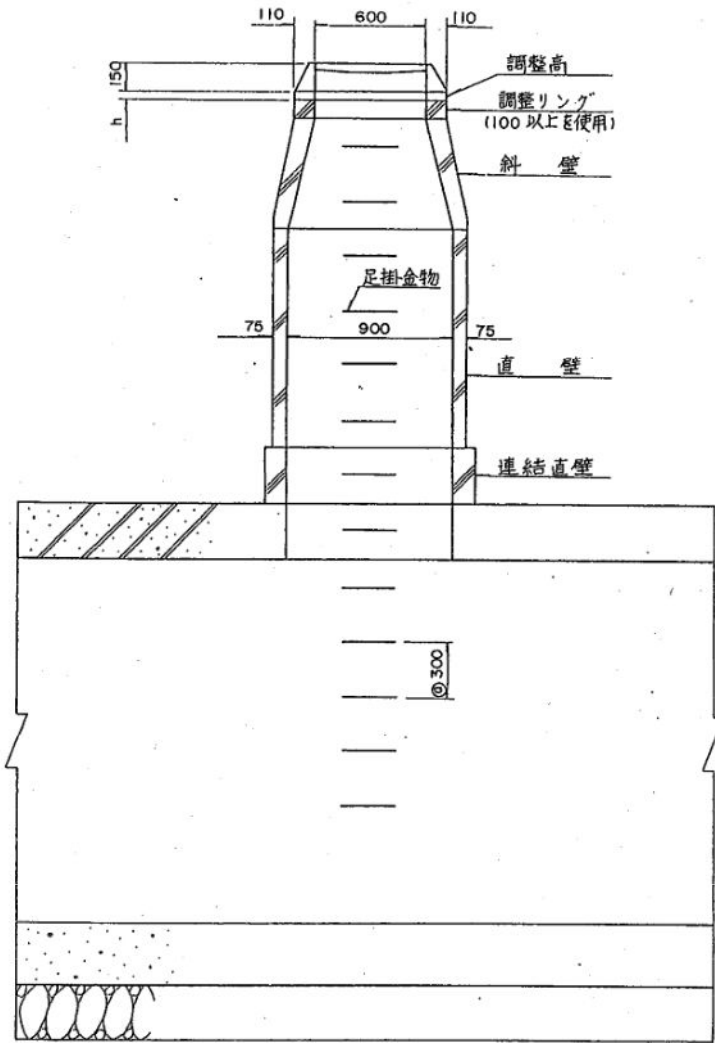
①鉄蓋のロック部分に干渉しないこと

②将来流入が見込まれない箇所、または、下流側へ設置すること



ホー種人孔(内径 90 cm 円形)構造標準図 (組立式)

用途：長方形渠、馬てい形渠等の管渠の中間点

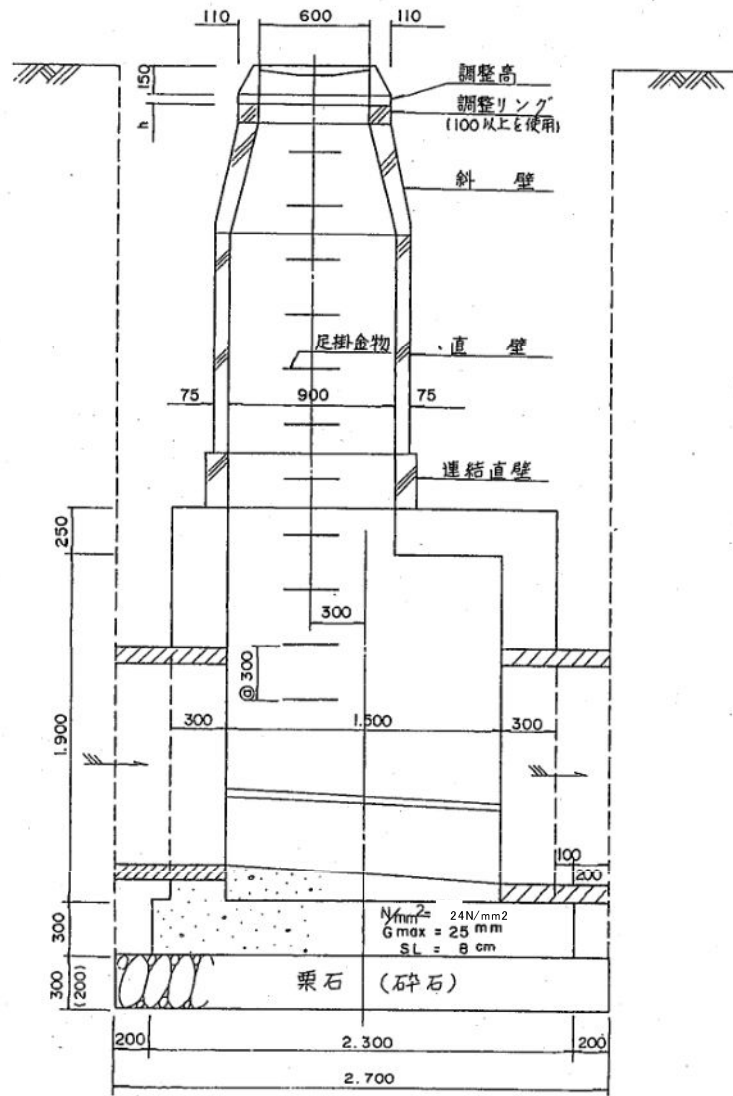


注) 足掛金物の設置について

① 鉄蓋のロック部分に干渉しないこと

② 将来流入が見込まれない箇所、または、下流側へ設置すること

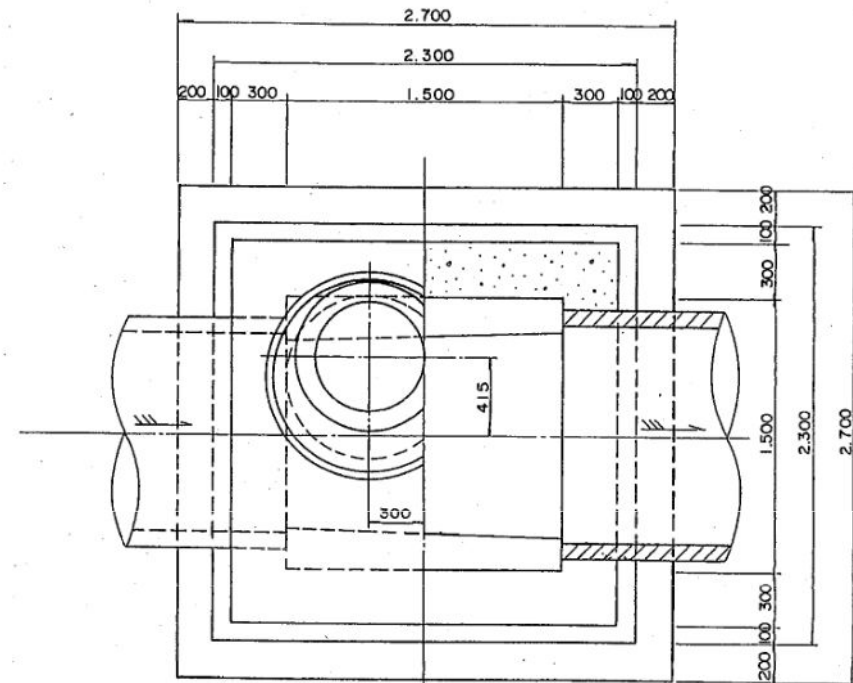
三種人孔(内法 150cm X 150cm 角形)構造標準図 (組立式) (内法 150cm X 120cm 角形)



用途 : 内径 1,200mm 以下の管の中間点及び会合点

本体は鉄筋コンクリート構造物とし床版部は壁と一体化構造物として
取扱う。配筋についての統一事項は以下の通り

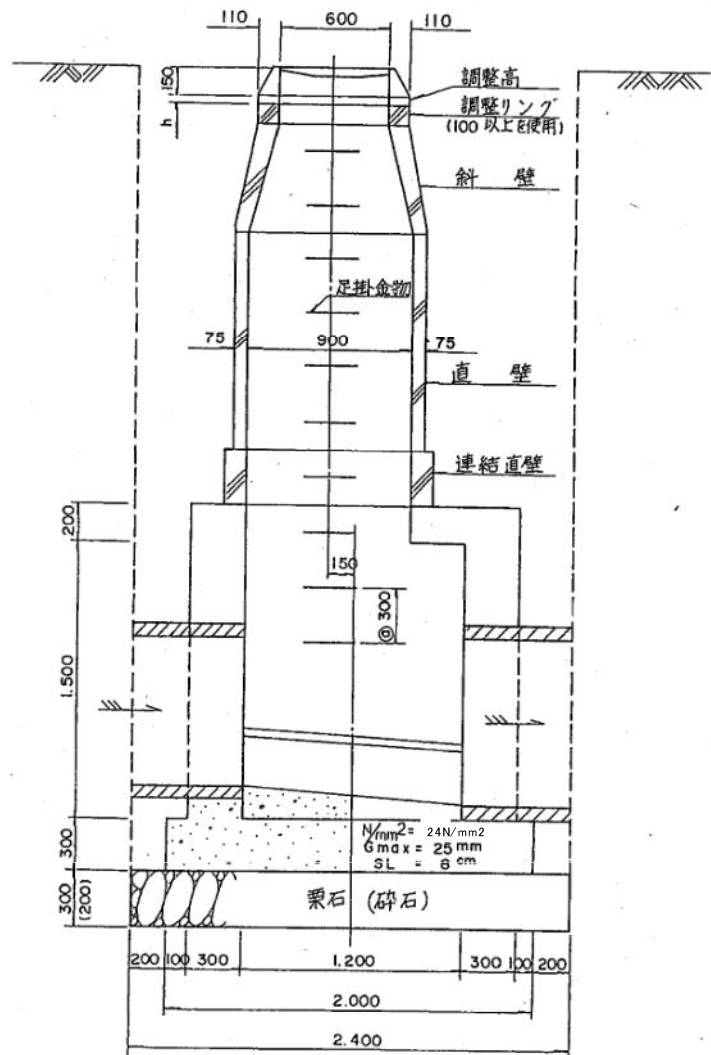
- 鉄筋 かぶり 6cm
- 最小間隔 100mm 以上、250mm 以下
- 鉄筋径 主鉄筋 D13 以上、補強筋は 1ランク上のを使用する。



注) 足掛金物の設置について

- ①鉄蓋のロック部分に干渉しないこと
- ②将来流入が見込まれない箇所、または、下流側へ設置すること

方四種人孔(内法 120 cm X 120 cm 角形)構造標準図 (組立式)



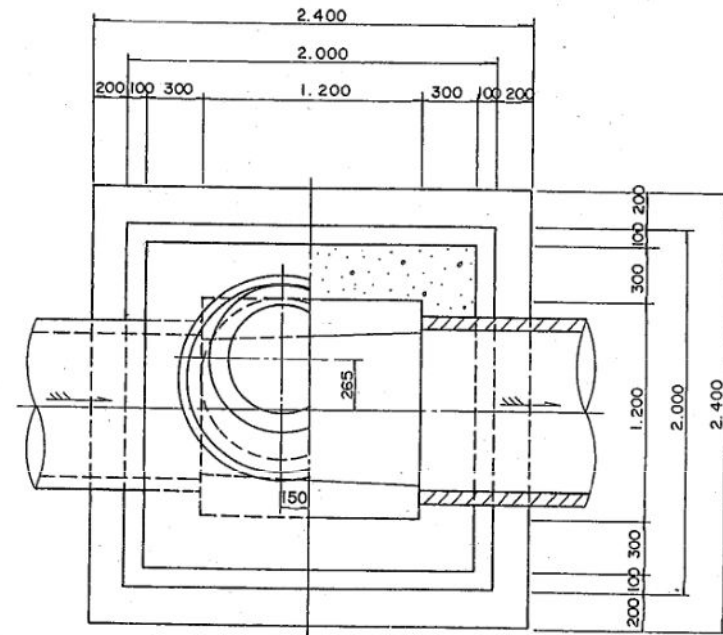
用途： 内径 900 mm 以下の管の中間点及び会合点

本体は鉄筋コンクリート構造物とし床版部は壁と一体化構造物として取扱う。配筋についての統一事項は以下の通り

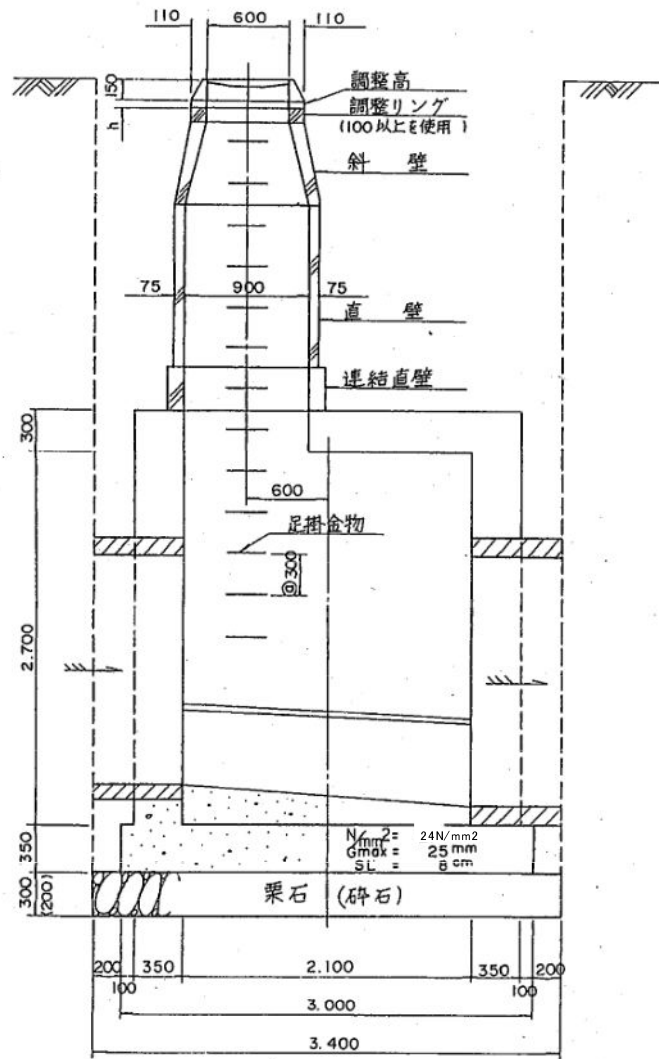
- 鉄筋 かぶり 6 cm
- 最小間隔 100 mm 以上 250 mm 以下
- 鉄筋径 主鉄筋 D13 以上、補強筋は 1 ランク上のを使用する

注) 足掛金物の設置について

- ① 鉄蓋のロック部分に干渉しないこと
- ② 将来流入が見込まれない箇所、または、下流側へ設置すること



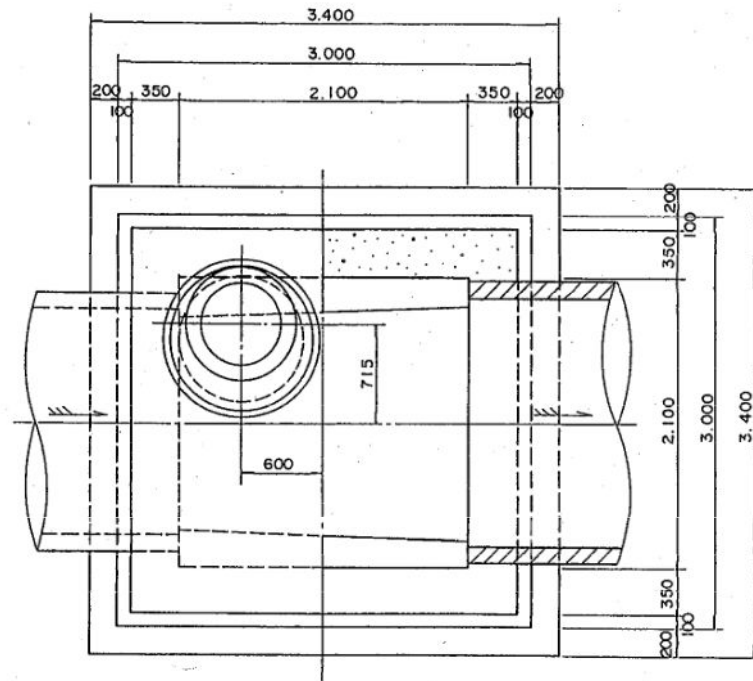
六七種人孔(内法210_{cm}×210_{cm}角形)構造標準図(組立式) (内法210_{cm}×120_{cm}角形)



用途：内径 1800^{mm}以下の管の中間点及び会合点

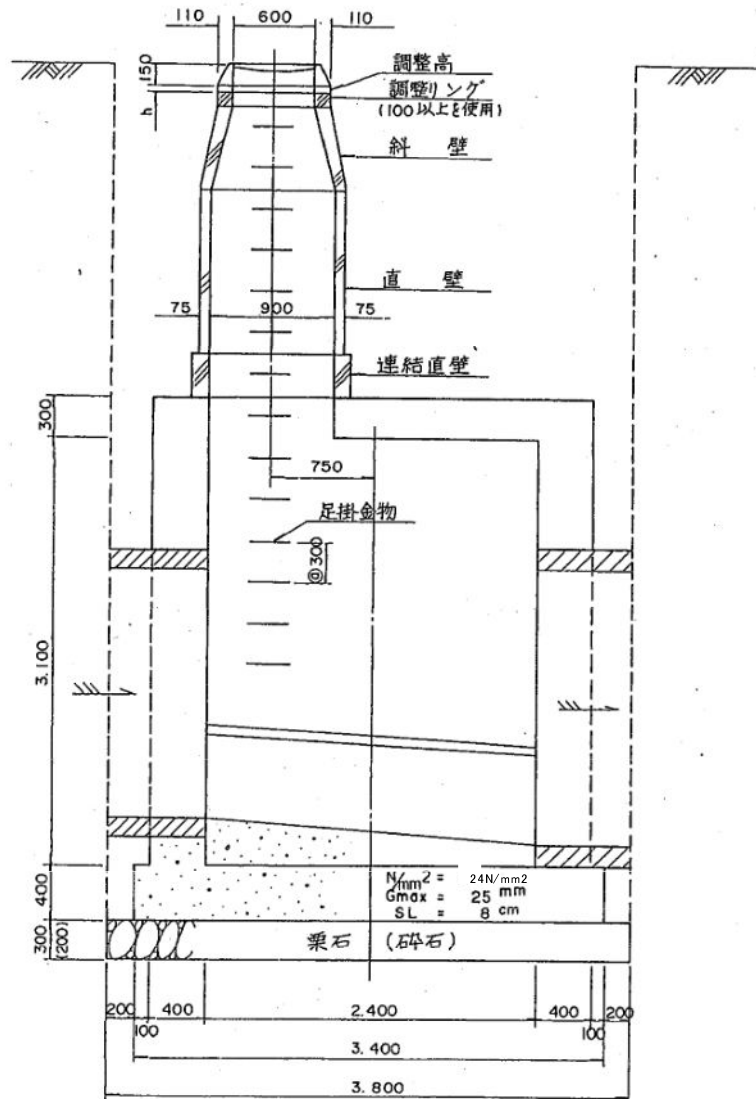
本体は 鉄筋コンクリート構造物とし床版部は 壁と一体化構造物として
取扱う。配筋についての統一事項は以下の通り

- 鉄筋かぶり 6^{cm}
- 最小間隔 100^{mm} 以上 250^{mm} 以下
- 鉄筋径 主鉄筋 D13 以上、補強筋は1ランク上のを使用する



- 注) 足掛金物の設置について
- ①鉄蓋のロック部分に干渉しないこと
 - ②将来流入が見込まれない箇所、または、下流側へ設置すること

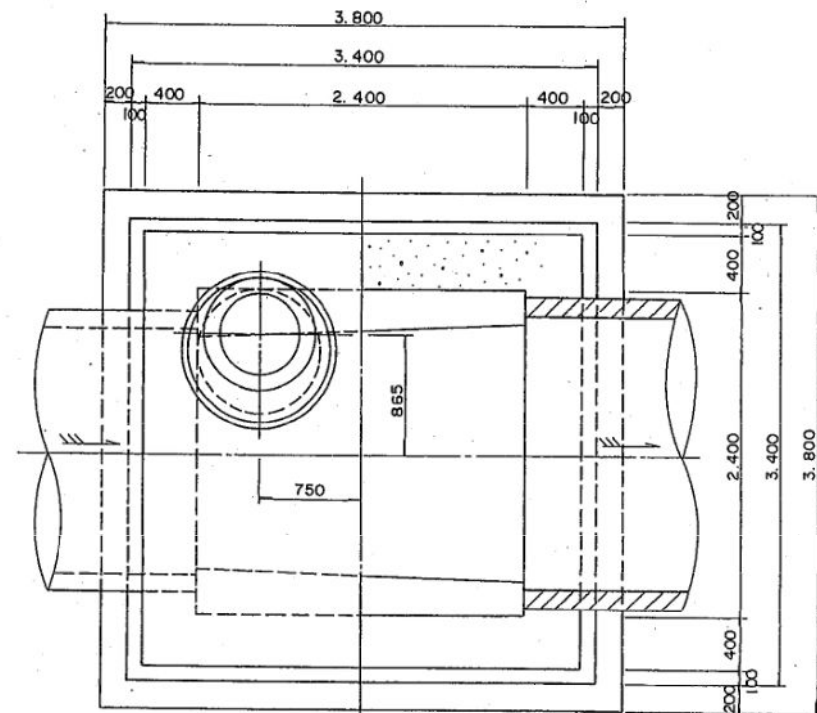
八種人孔(内法240cm×240cm角形)構造標準図(組立式) (内法240cm×120cm角形)



用途：内径2,000mm以上の管の中間点及び会合点

本体については鉄筋コンクリート構造物とし床版部は壁を一体化構造物として取扱う。配筋についての統一事項は以下の通り

- 鉄筋 かぶり 6cm
- 最小間隔 100mm 以上 250mm 以下
- 鉄筋径 主鉄筋 D13 以上, 補強筋は1ランク上のを使用する

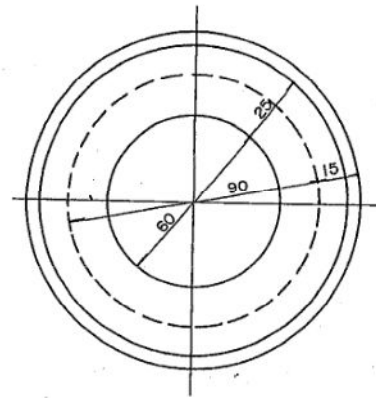


注) 足掛金物の設置について

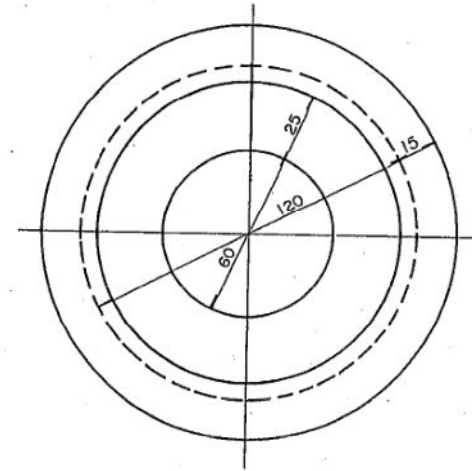
- ①鉄蓋のロック部分に干渉しないこと
- ②将来流入が見込まれない箇所, または, 下流側へ設置すること

人孔ブロック詳細図

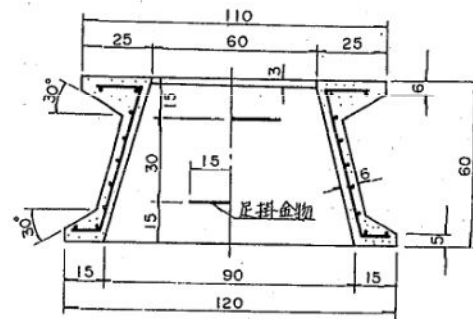
内径 90 cm 斜型
平面図



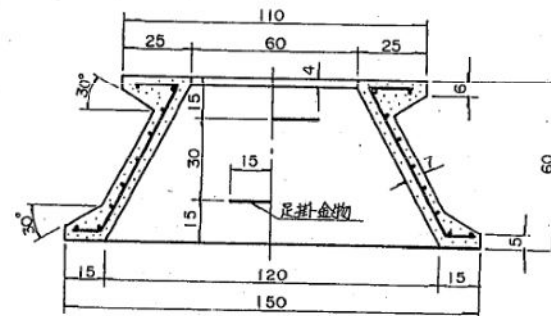
内径 120 cm 斜型
平面図



断面図



断面図



※ 足掛金物の位置は 左右 逆取付の場合もある。

単位 cm

人孔インバート標準図

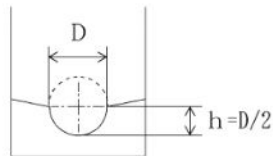
■ マンホールの底部には、下水の円滑な流下を図るためにインバートを設ける。
 なお、管渠の接合、会合状況に応じた形状で水の流れが良いことと掃除の際、支障のない構造とする。

■ コンクリート強度は、18-8-25-高炉の規格とする。

1. インバートの高さ

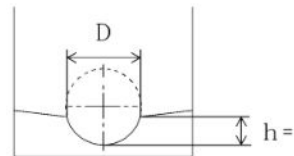
- a) 分流式污水管渠 — 下水管径の1/2 最高 80cm 程度
- b) 合流式及び分流式雨水管渠
 - 内径1500mm以下は管径の1/2 最高 50cm 程度
 - 内径1650mm以上は管径の1/3 最高 80cm 程度

a) の場合



※ h max=80cm

b) の場合

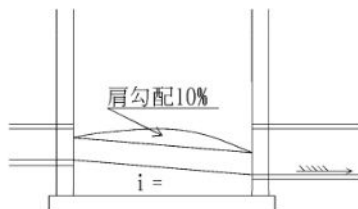


※ $D \leq 1500\text{mm}$ のとき $h = D/2$ $h_{\text{max}} = 50\text{cm}$
 ※ $D \geq 1650\text{mm}$ のとき $h = D/3$ $h_{\text{max}} = 80\text{cm}$

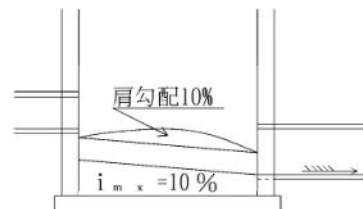
2. インバート縦断勾配

上流管底と下流管底を結んだ線とする。ただし、段差の大きい場合は勾配を最大10%程度までとし、それ以上はマンホール上流側で段差を設けること。
 肩の勾配は、10%程度とする。

$i \leq 10\%$ の場合



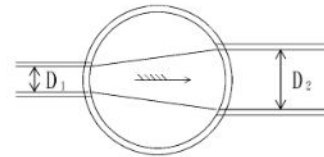
$i > 10\%$ の場合



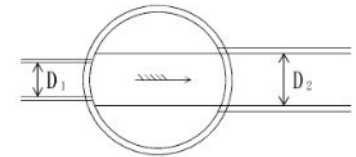
3. インバート幅

上流管幅と下流管幅を結んだ線かまたは、下流管の幅とする。

$D_2/D_1 > 2.0$ の場合

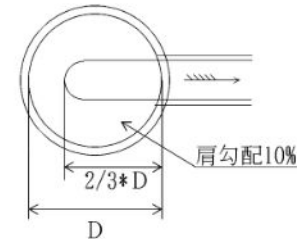


$D_2/D_1 \leq 2.0$ の場合



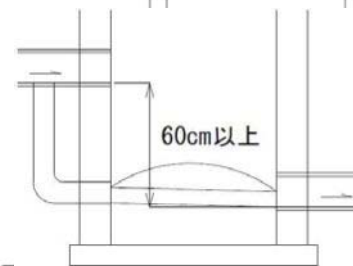
4. 起点マンホールのインバート

下流管幅でマンホール内径の 2/3以上の長さの所を円形に仕上げる。



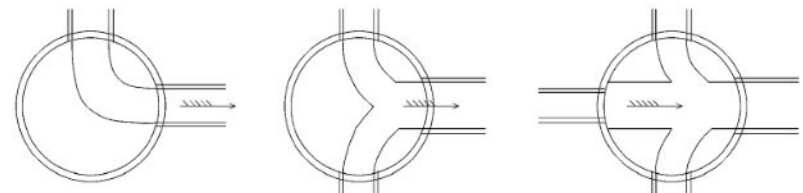
5. 副管付マンホール

副管は、上流と下流の管底差が60cm以上の場合に設けること。



6. ニ・ニ方向のクロコインバート

下水の円滑な流下を考慮し、設置すること。



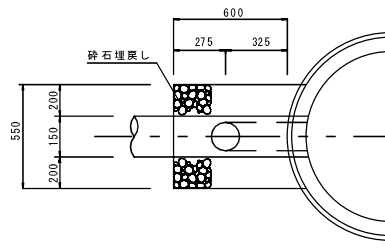
組立人孔副管工

(可とう)

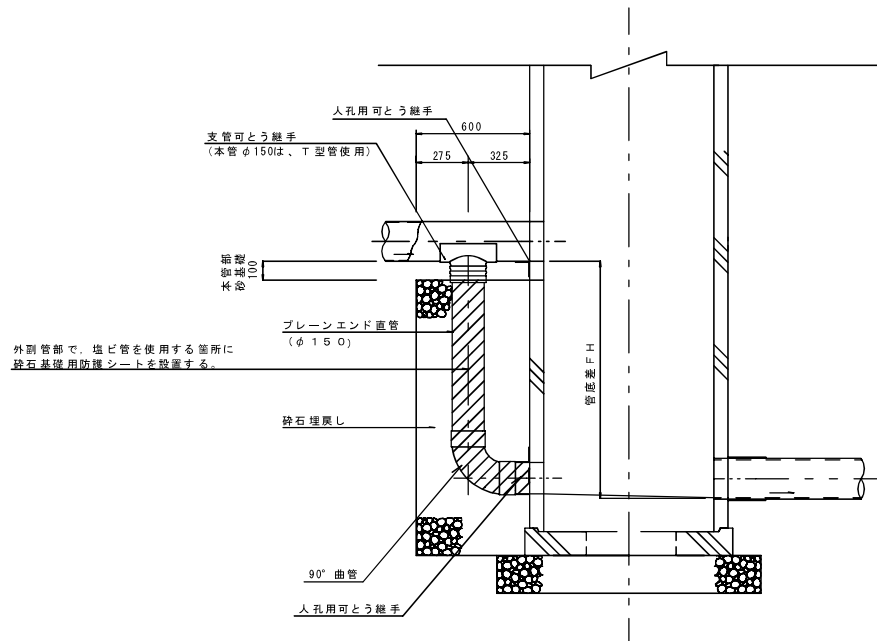
(本管：塩ビ管)

外副管

平面図

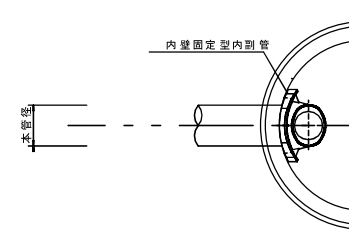


断面図

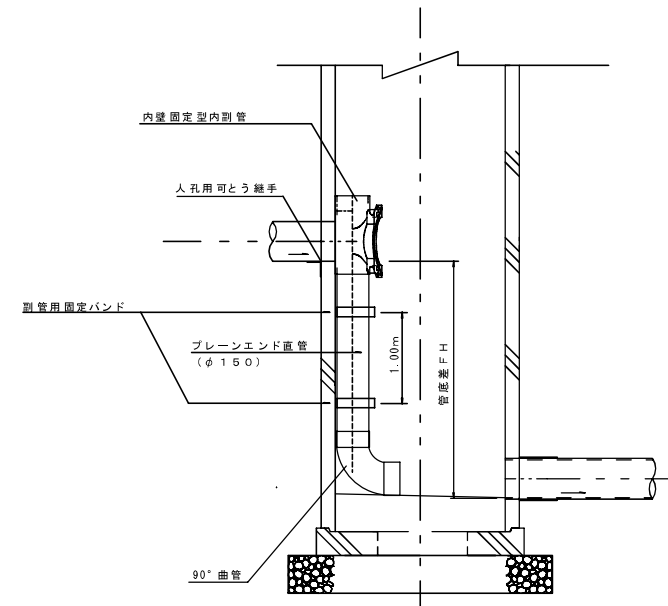


内副管

平面図



断面図



注) 副管用固定バンドの設置間隔について
① ブレーンエンド直管が1.00m以内の場合は管の上下にそれぞれ設置すること
② ブレーンエンド直管が1.00m以上の場合は管の上下及び1.00m毎に1箇所ずつ設置すること

組立人孔副管工

(可とう)

(本管：リブ管)

外副管

内副管

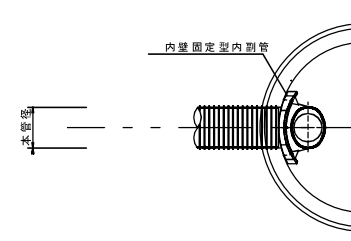
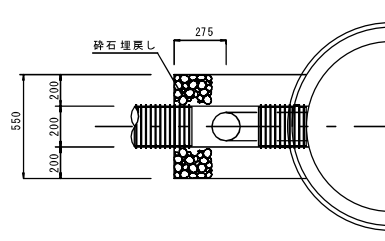
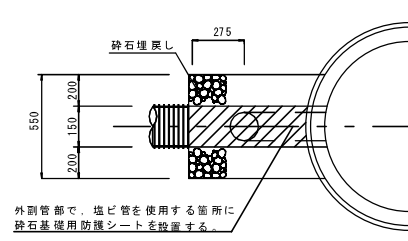
本管径：150

本管径：200

平面図

平面図

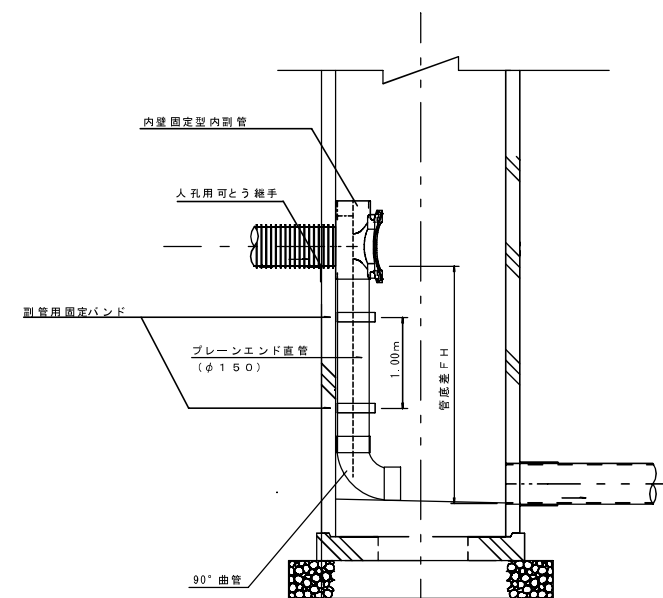
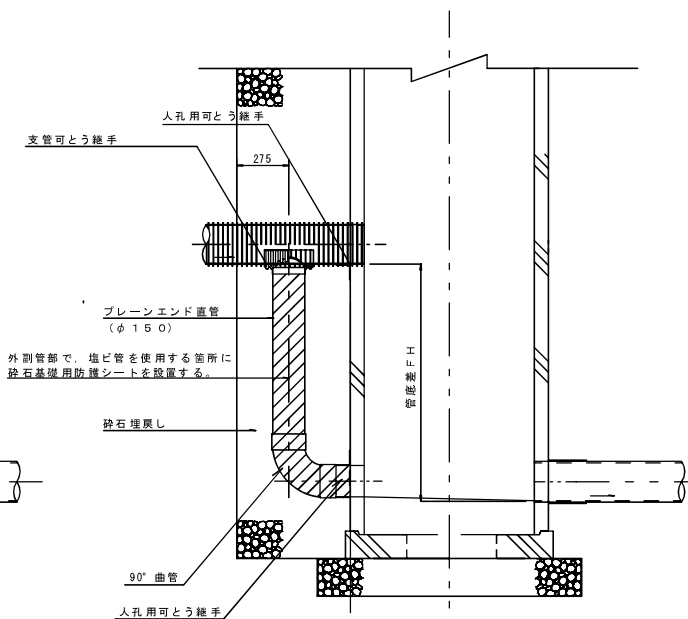
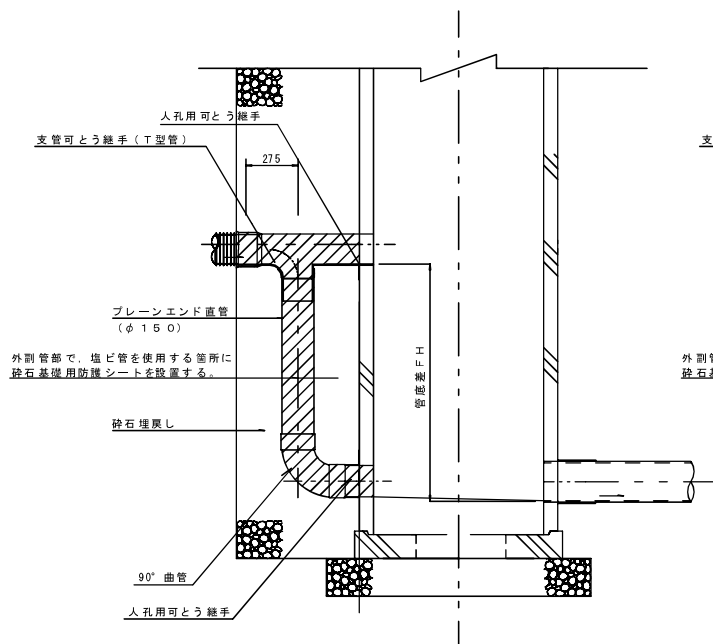
平面図



断面図

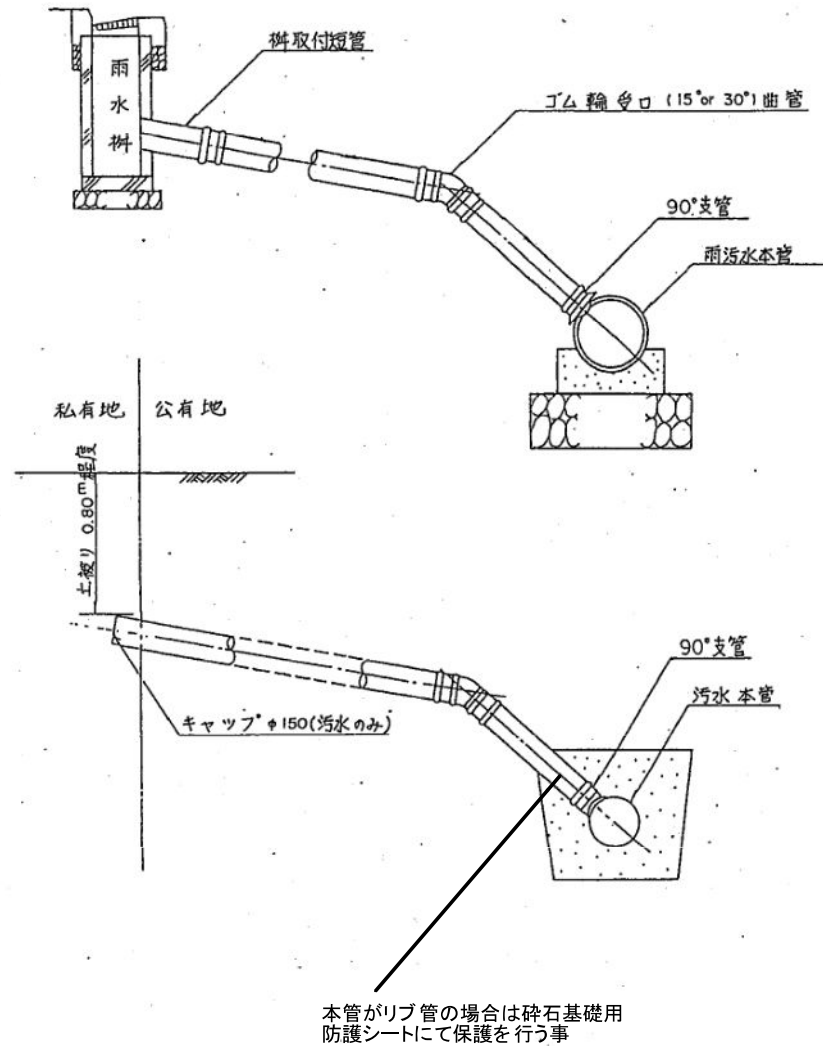
断面図

断面図



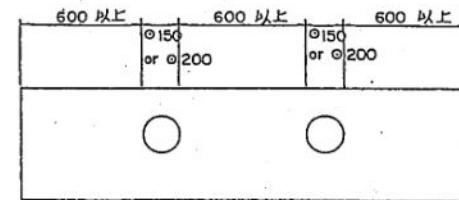
注) 副管用固定バンドの設置間隔について
① ブレーンエンド直管が1.00m以内の場合は管の上下にそれぞれ設置すること
② ブレーンエンド直管が1.00m以上の場合は管の上下及び1.00m毎に1箇所ずつ設置すること

取付管工



下水道本管の支管取付のため

本管に2ヶ所以上穴をあける場合は下図の様に計画すること



※ 使用材料

- 1 曲管は 15°, 30° ゴム輪 タイフ
- 2 支管は 取付管用90°支管
- 3 本管-取付管が150-150の場合は 同径支管を使用
- 4 雨水側には 樹用 砂付短管 を使用
- 5 汚水側は 状況によりキャップにて止める計画とする
- 6 滑材の数量は

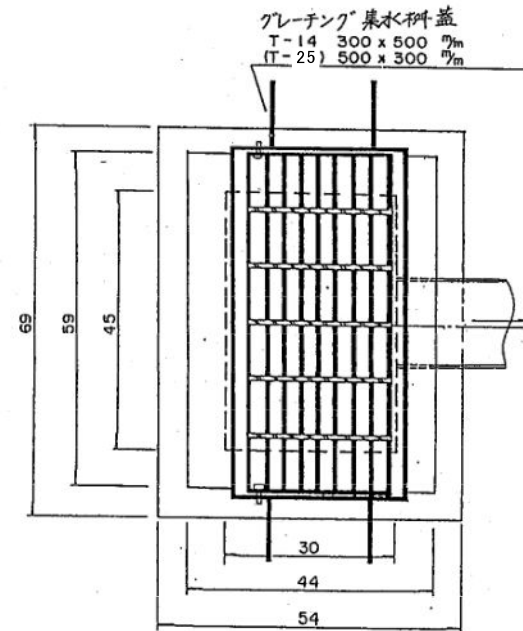
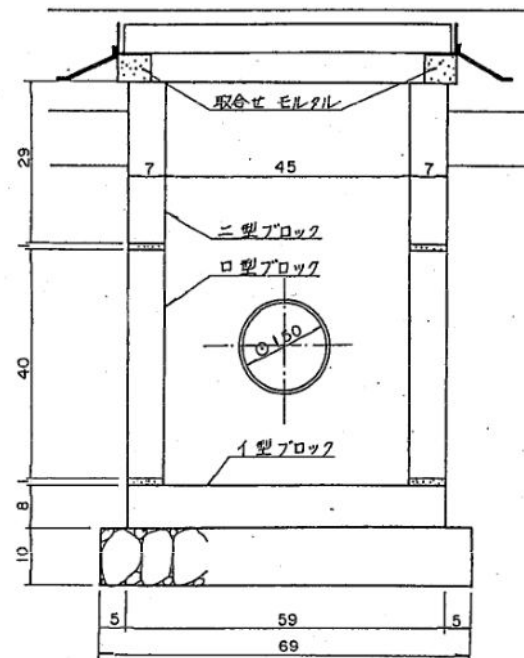
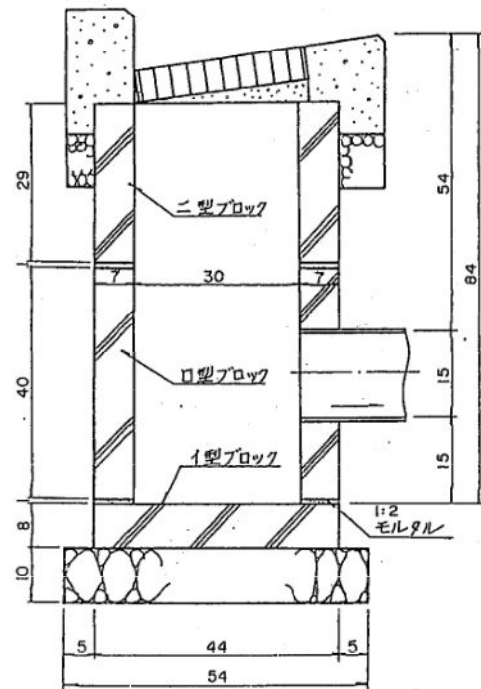
φ150	20 個 / 箇所
φ200	25 個 / 箇所

一号雨水枡標準図 S=1:10

道路巾員は 15.0 m 以上に適用する

枡間隔は 相互間 20.0 m と標準とする

但し バチ部分は 先決する



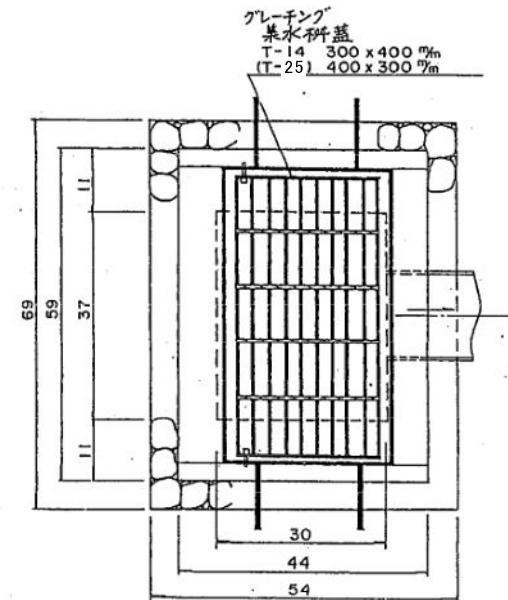
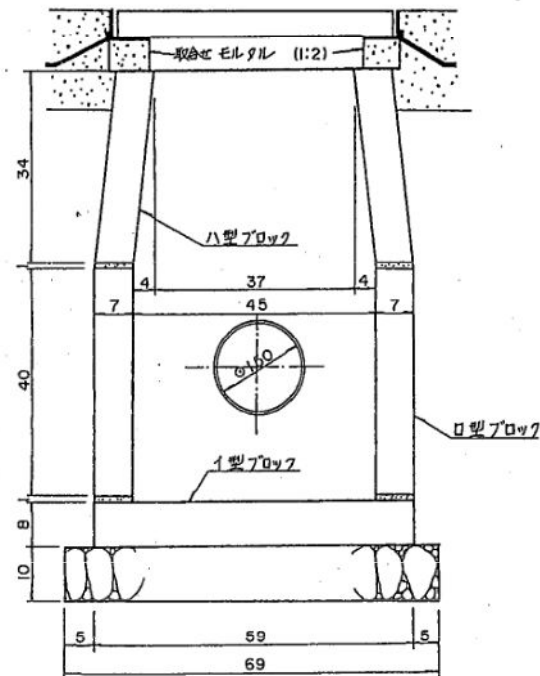
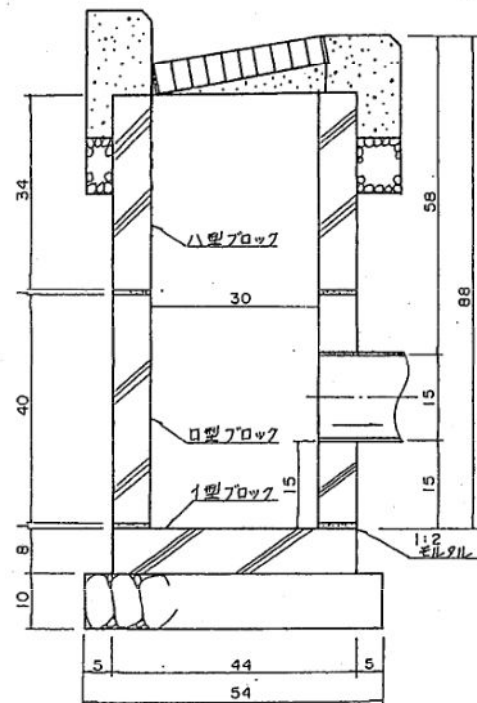
単位 cm

二号雨水枡標準図 (400×300) (300×400) S=1:10

道路巾員は 15^m 未満に適用する。

枡間隔は、20^m を標準とする

但し 両端のバチ部分は 先決する



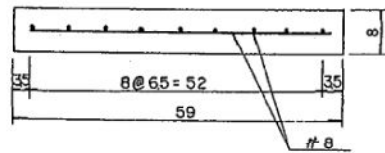
単位 cm

単位 cm

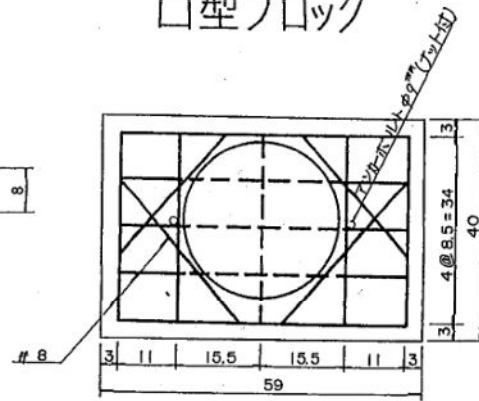
雨水枳ブロック製作図

S=1:10

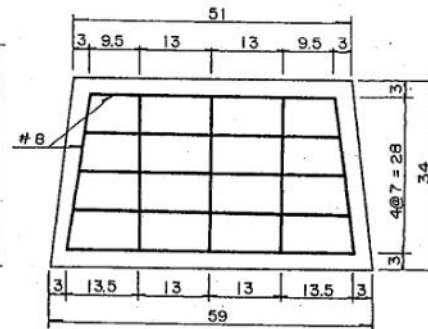
イ型ブロック



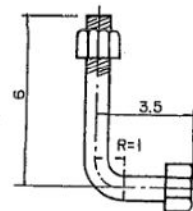
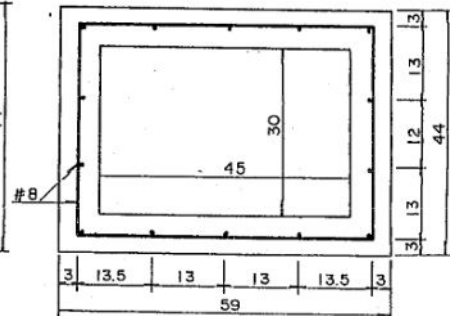
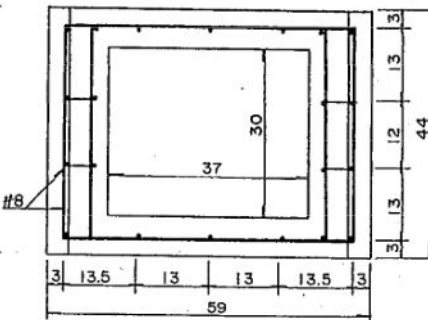
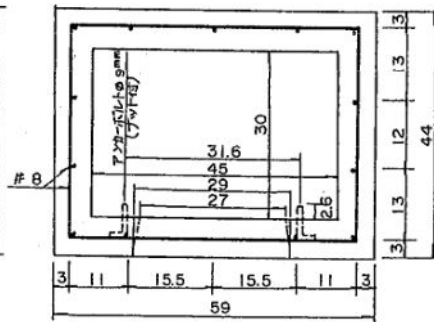
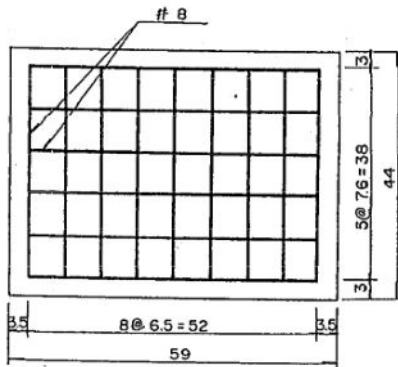
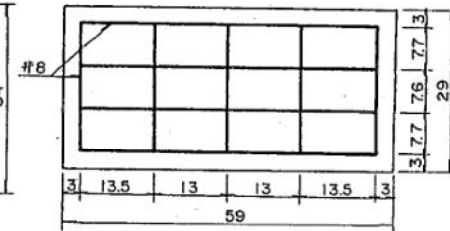
ロ型ブロック



ハ型ブロック



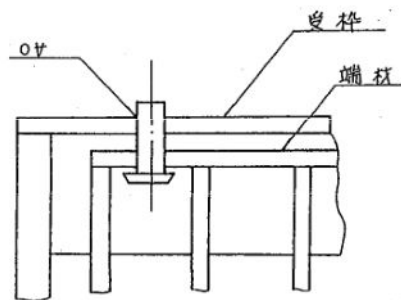
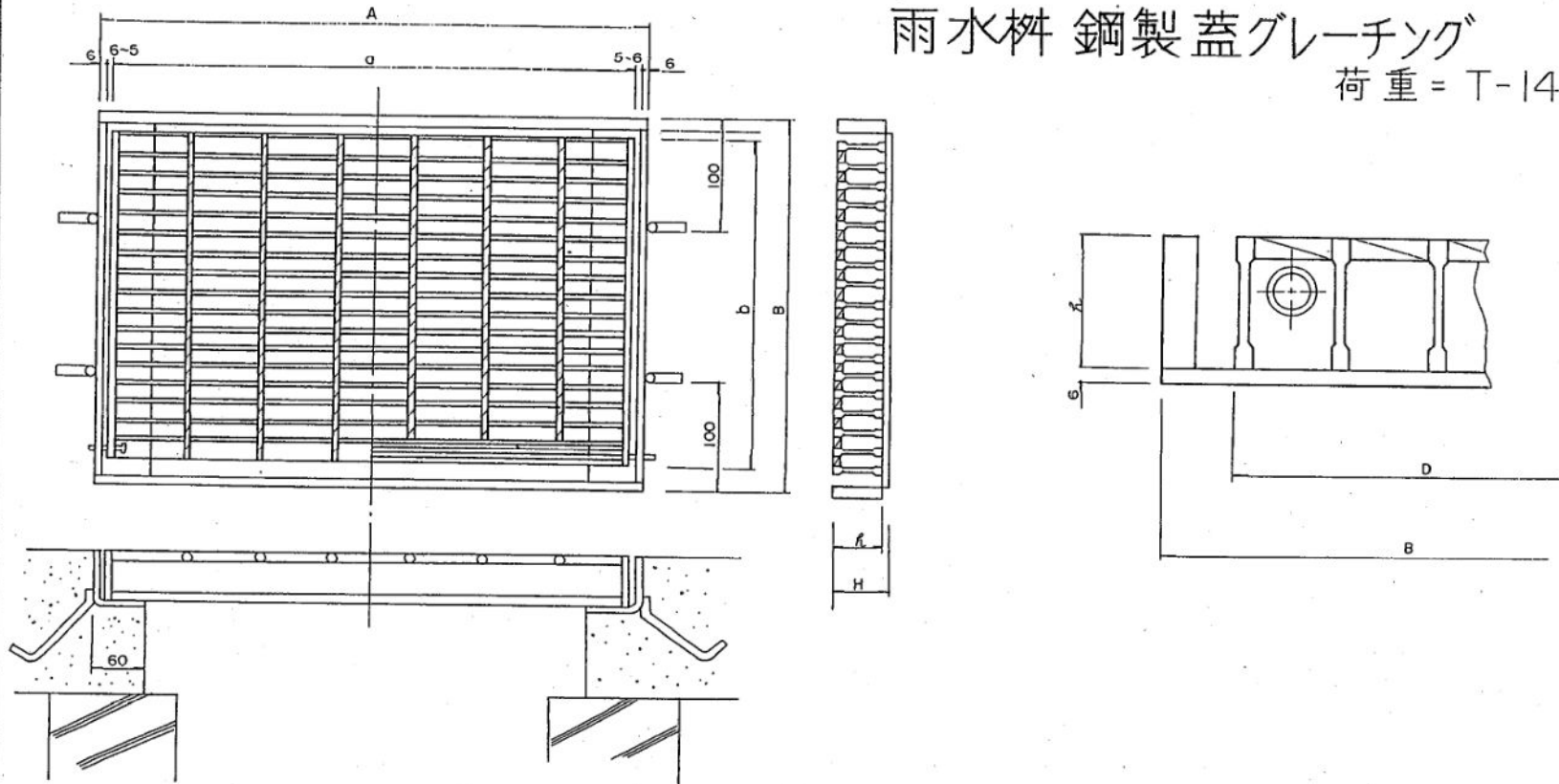
ニ型ブロック



アンカーボルト詳細図
φ9mm

※ ボルトについては 担当者 と 協議 のこと

雨水枒 鋼製蓋グレーチング[®] 荷重 = T-14



T-14 枒蓋寸法表

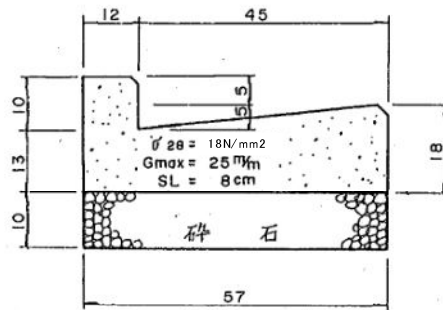
枒の大きさ 幅 × 長さ	グレーチング			グレーチング 受枒		
	a	b		A	B	H
300 × 400	500	254~287	50	520~524	305~321	56
300 × 500	600	254~289	50~55	620~624	305~323	56~61

但し 表面処理 グレーチング = 亜鉛メッキ
受 枒 = 錆止塗装

* 現場状況により T-25 or T-14 以下の使用も考慮すること

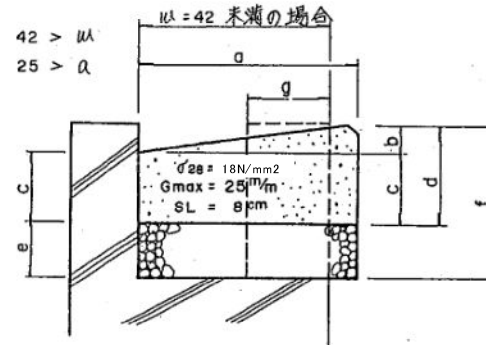
┐字地先下水渠(新設・U字溝改良)標準図

新設地先下水渠

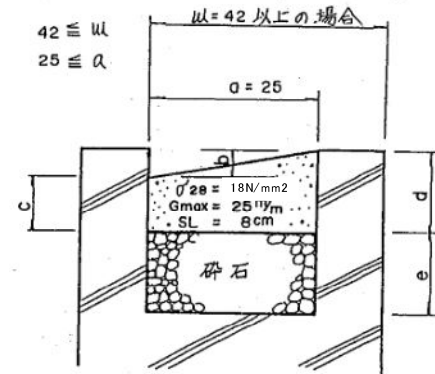


U字溝改良

Aタイプ



Bタイプ



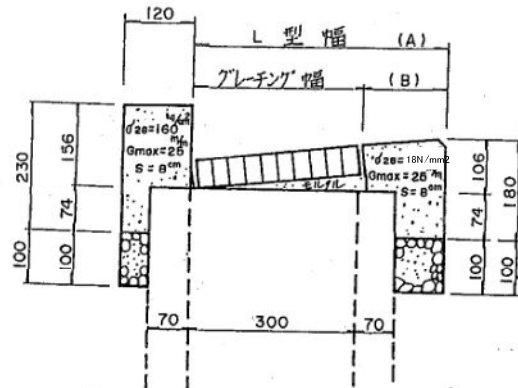
寸法表 (cm)				材料表					m当り	
	a	b	c	d	コンクリート σ28 = 18-20/25mm ³ /m	型 枠 m ² /m	砕 石 m ³ /m	コンクリート取壊レ m ³ /m	備 考	
設 計	—	—	—	—	0.097	0.51	0.057	—		
U字溝改良	Aタイプ	45	5	13	18	0.0698	0.18	a x e	g x f	
	Bタイプ	25	5	13	18	0.0388	—	0.25 x e	—	
		30	5	13	18	0.0465	—	0.30 x e	—	

単位 cm

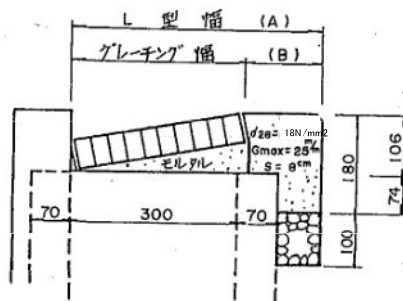
雨水枡上部改良標準図

S = 1:10

新設枡取り合せ



改良枡取り合せ



材料表

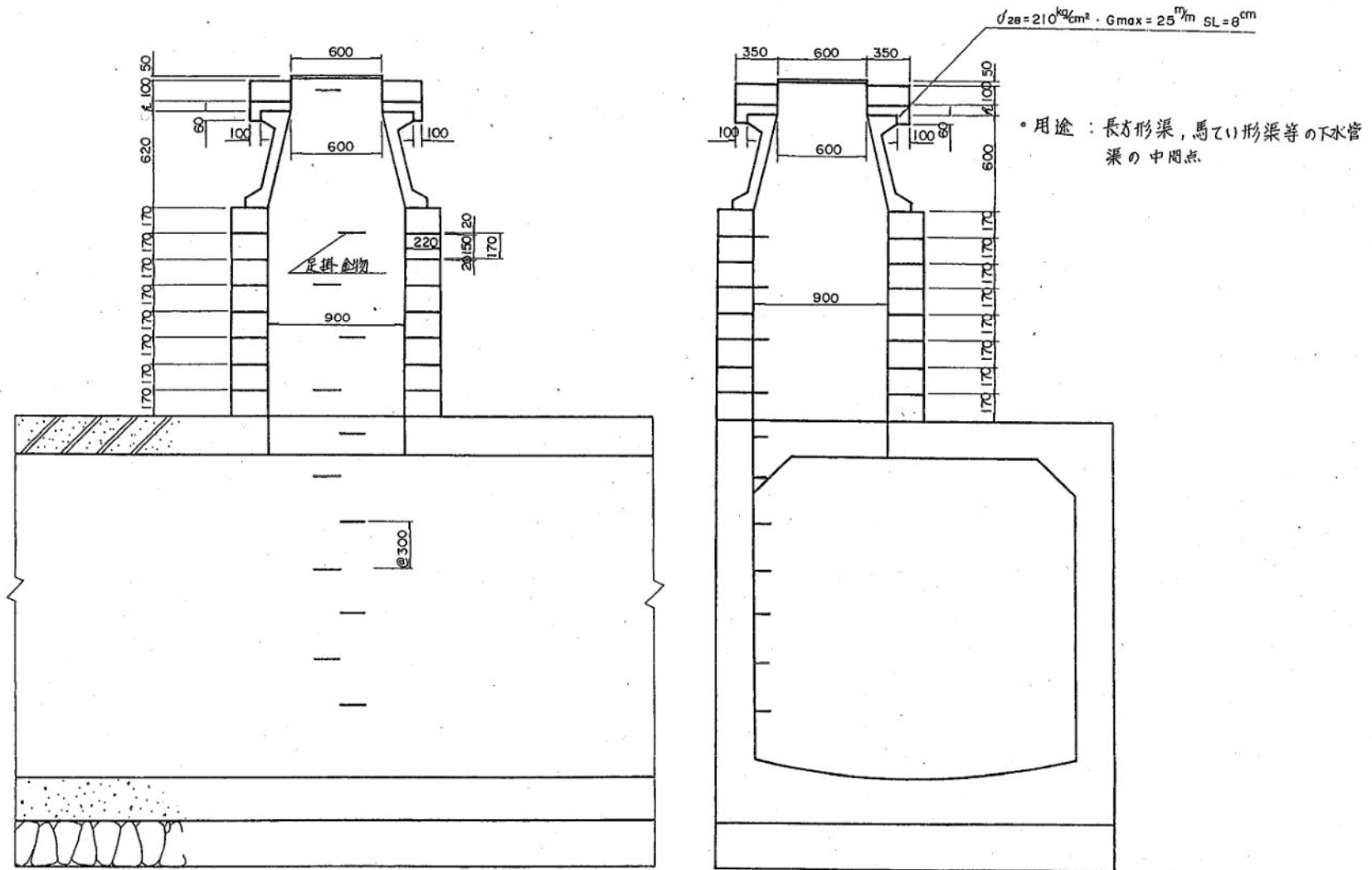
1ヶ所

工種		(A)	コンクリート (d20=180/mm2) m³	型枠 m²	砕石 m³	モルタル (1:2) m³	コンクリート 取壊し m³	摘要
二号雨水枡	改良	420	0.008	0.152	0.003	0.001	別途計上	ℓ=530
		450	0.011	0.152	0.004	0.001	〃	b=312
		500	0.016	0.152	0.007	0.001	〃	
	新設	420	0.019	0.348	0.005	0.001		
		450	0.023	0.348	0.007	0.001		〃
一号雨水枡	改良	420	0.010	0.171	0.003	0.001	別途計上	ℓ=630
		450	0.013	0.171	0.005	0.001	〃	b=312
		500	0.016	0.171	0.008	0.001	〃	
	新設	420	0.023	0.499	0.006	0.001		
		450	0.026	0.499	0.008	0.001		〃

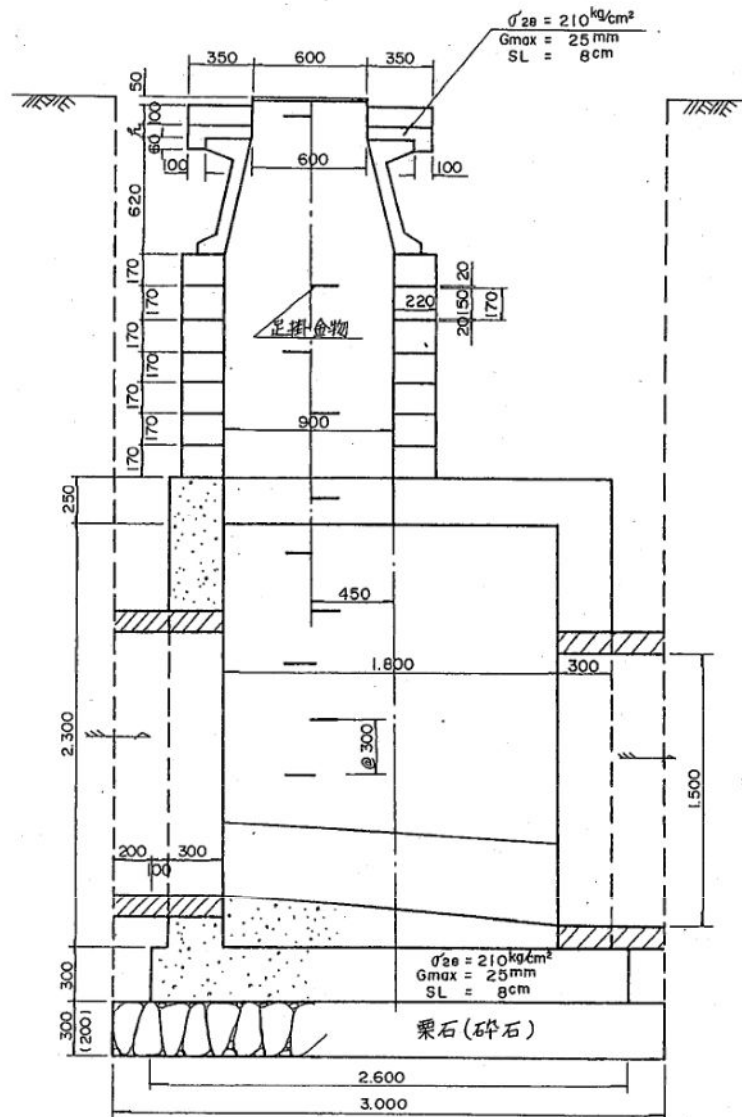
単位 mm

既設構造物標準図

汎一種人孔(内径90cm円形)構造標準図



六二種人孔(内法180cm×180cm角形)構造標準図 (内法180cm×120cm 角形)

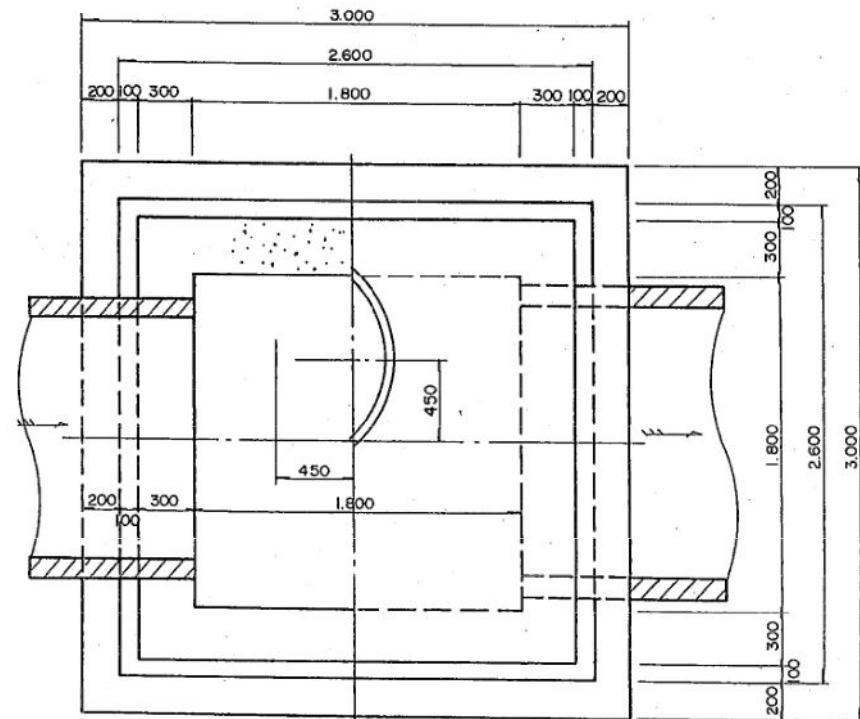


用途 : 内径 1500^{mm} 以下の管の中間点及び会合点

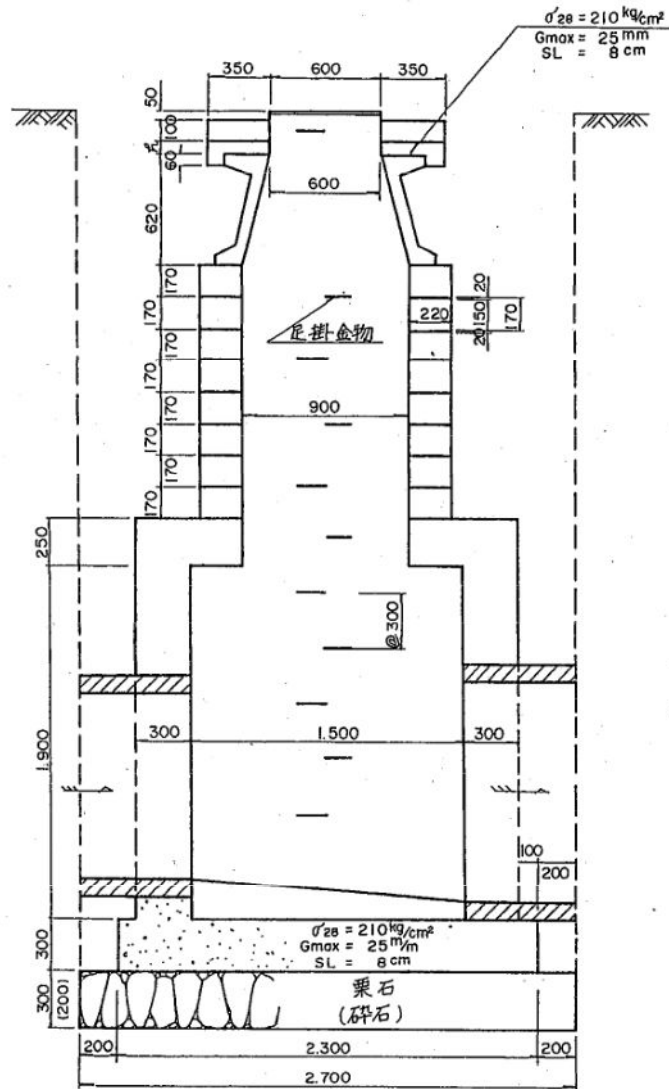
本体は 鉄筋コンクリート構造物とし床版部は壁と一体化構造物として取り扱う。配筋についての統一事項は以下の通り

- 鉄筋 かぶり 6 cm
- 最小間隔 100^{mm} 以上 250^{mm} 以下
- 鉄筋径 主鉄筋 $\phi 13$ 以上、補強筋は 1ランク上のを使用する

直型 ブロック部、防水モルタルについては 状況により計上する



为三種人孔(内法150cm×150cm角形)構造標準図
(内法150cm×120cm角形)

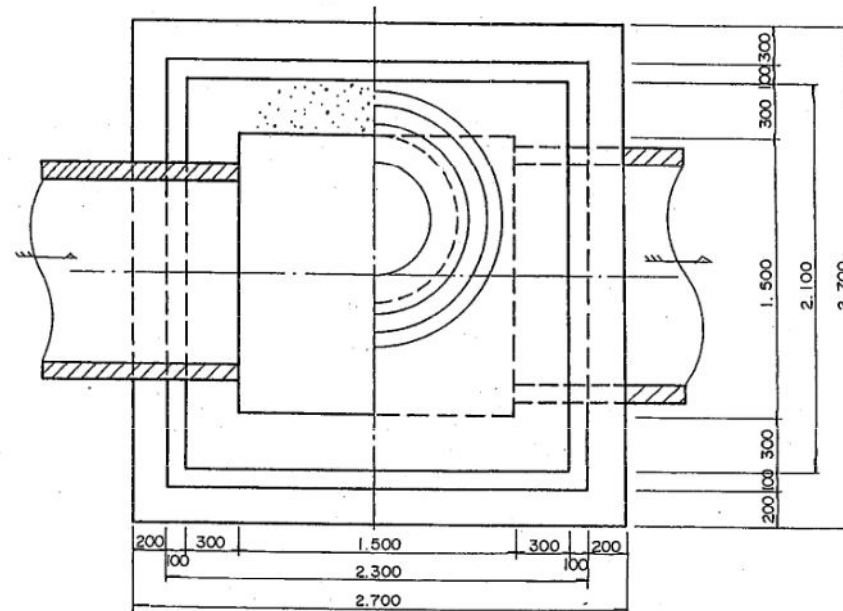


用途： 内径 1200^{mm} 以下の管の中間点、及び 会合点

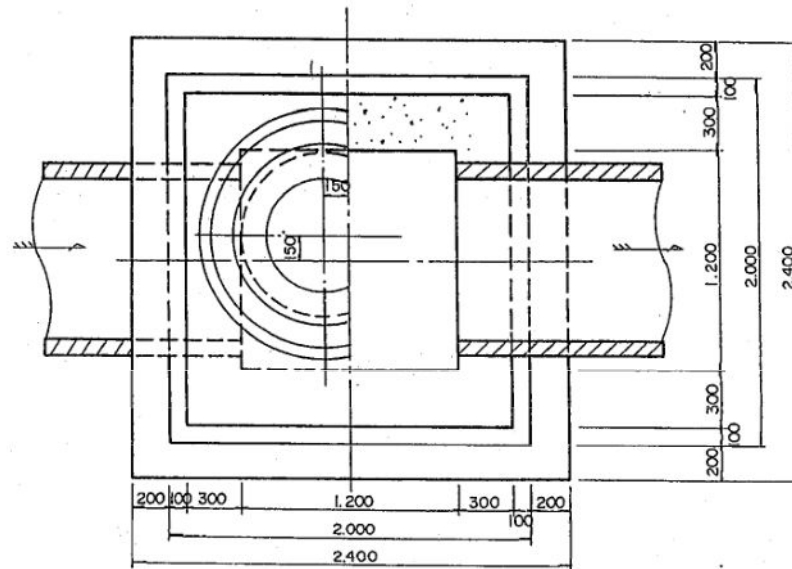
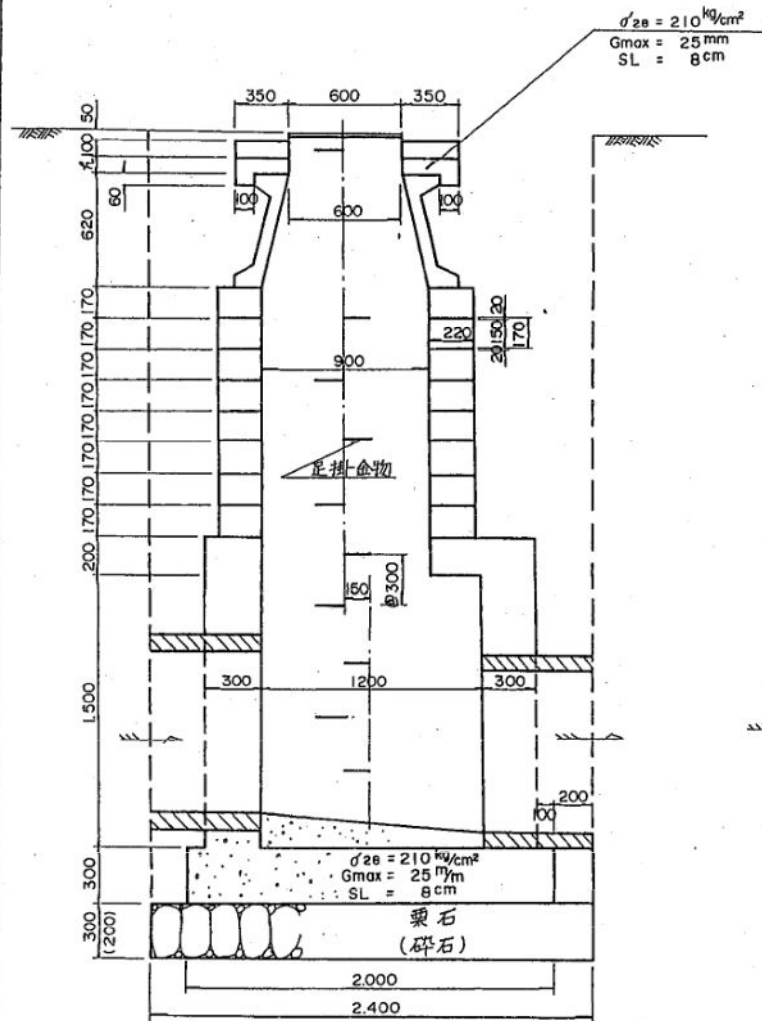
本体は鉄筋コンクリート構造物とし床版部は壁と一体化構造物として取扱う
配筋についての統一事項は以下の通り

- 鉄筋かぶり 6 cm
最小間隔 100 mm 以上 250 mm 以下
鉄筋径 主鉄筋 D13 以上、補強筋は1ランク上のを使用する

直型ブロック部 防水モルタルについては状況により計上する

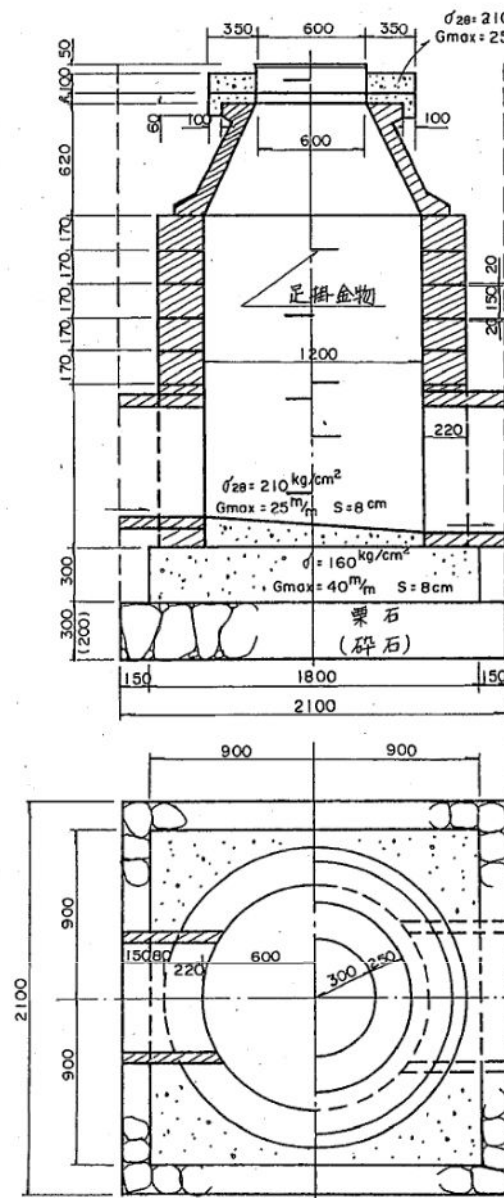


方四種人孔(内法 120cm X 120cm 角形)構造標準図



方五種 (内径 120cm 円形) 方六種 (内径 90cm 円形) 人孔構造標準図

(注) 直型ブロック部について漏水対策のための防水モルタル) 現場状況により
流入、流出管部での人孔部 全巻防護 検討すること



用途 内径900mm以下の管の中点及び
内径600mm以下の管の会合点

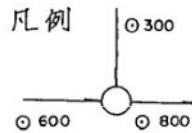
人孔一基当り

鉄蓋 1枚
斜型ブロック 1個
直型 〃 10個段
足掛金物 1.5/2段
コンクリート工 1.0式
栗石工 1.0式

管径別ブロック差引個数 1ヶ所

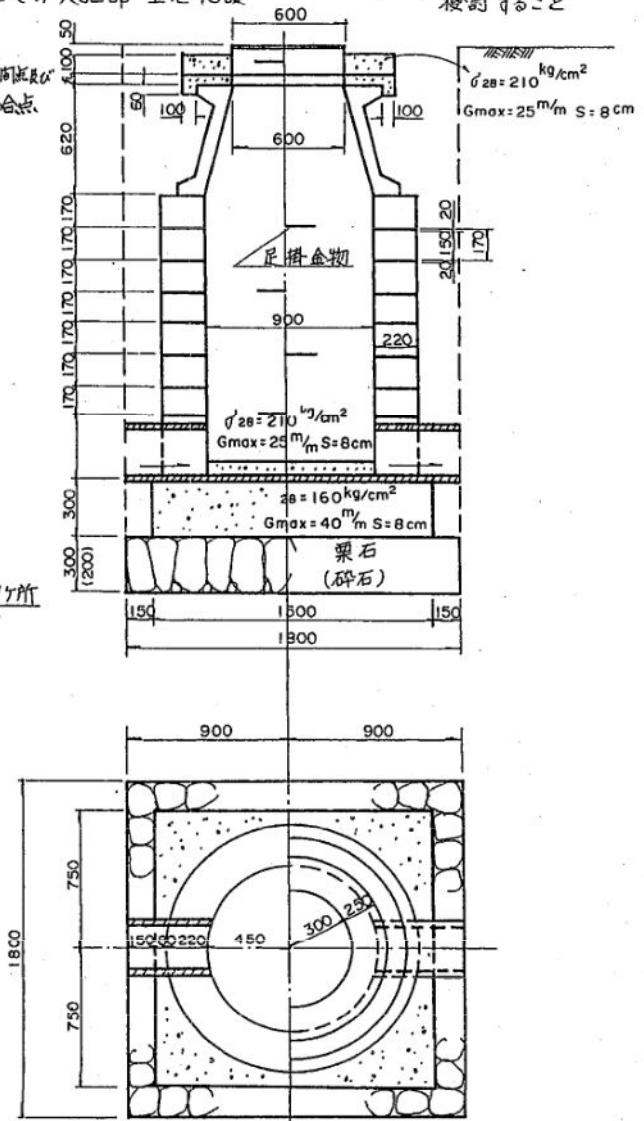
ヒューム管
○ 400 以下 2.0ヶ
○ 450 〃 3.0ヶ
○ 500 〃 4.0ヶ
○ 600 〃 6.0ヶ
○ 700 〃 7.0ヶ
○ 800 〃 11.0ヶ

凡例



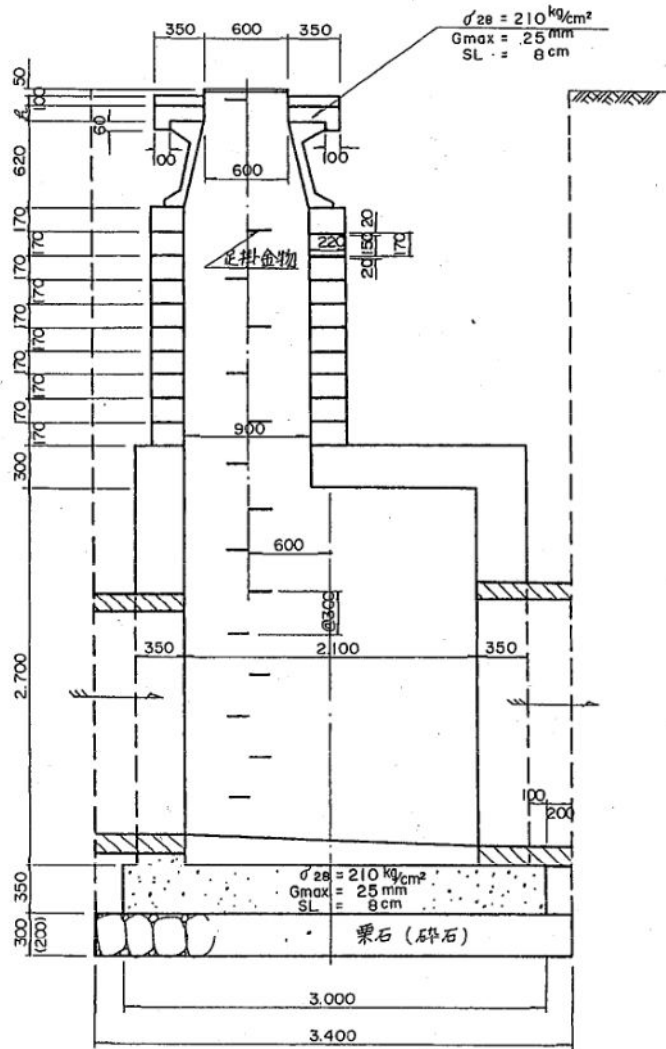
差引数量

○ 300 2.0
○ 600 6.0
○ 800 11.0
計 19.0ヶ



用途: 管の起点及び 600mm以下の管の中点ならびに
内径 450mmまでの管の会合点

方七種人孔(内法210cm×210cm角形)構造標準図 (内法210cm×120cm角形)

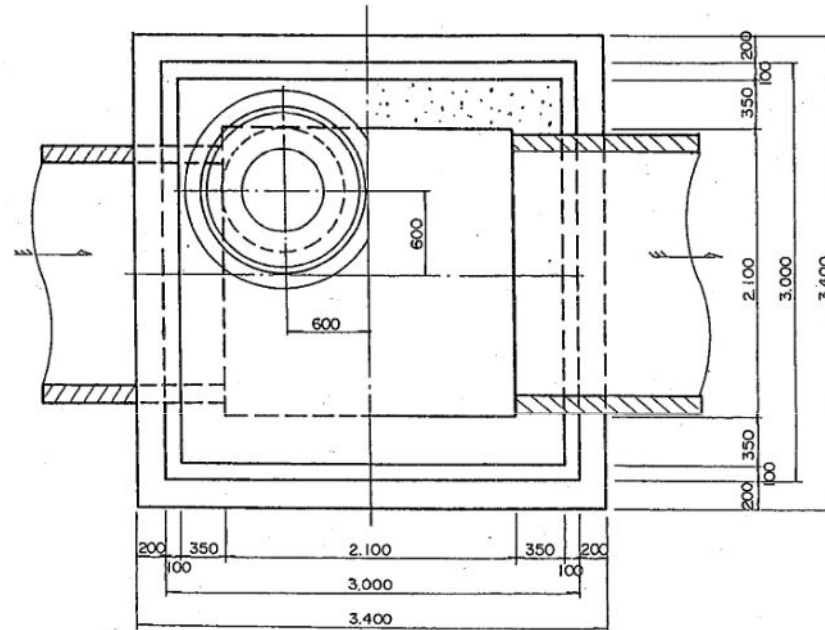


用途： 内径 1800mm 以下の管の中間点及び会合点

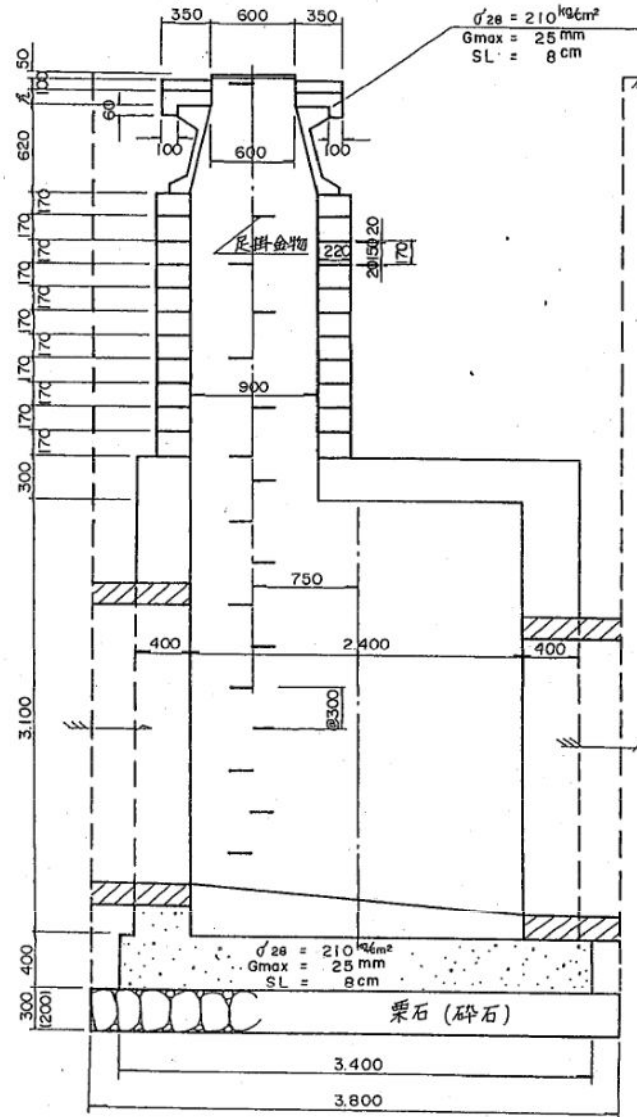
本体は 鉄筋コンクリート構造物とし床版部は壁と一体化構造物として取扱う。
配筋についての統一事項は以下の通り

- { 鉄筋 かぶり 6 cm
- { 最小間隔 100mm 以上 250mm 以下
- { 鉄筋径 主鉄筋 $\phi 13$ 以上 補強筋は 1ランク上のを使用する

直壁 ブロック部 防水モルタルについては 状況により 計上する



八種人孔(内法240cm×240cm角形)構造標準図 (内法240cm×120cm角形)

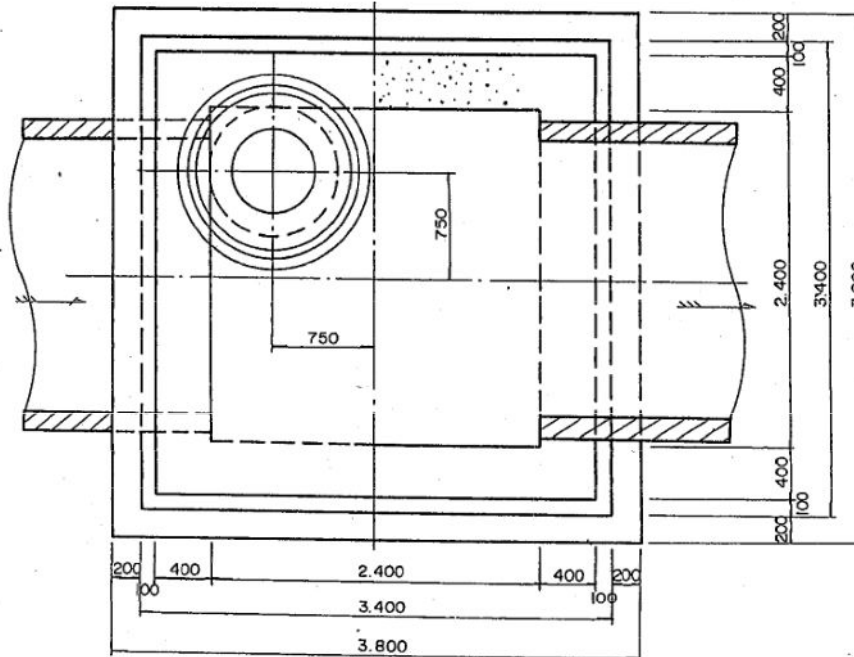


用途：内径2000mm以下の管の中間点及び会合点

本体については鉄筋コンクリート構造物とし床版部は壁を一体化構造物として取扱う
配筋についての統一事項は以下の通り

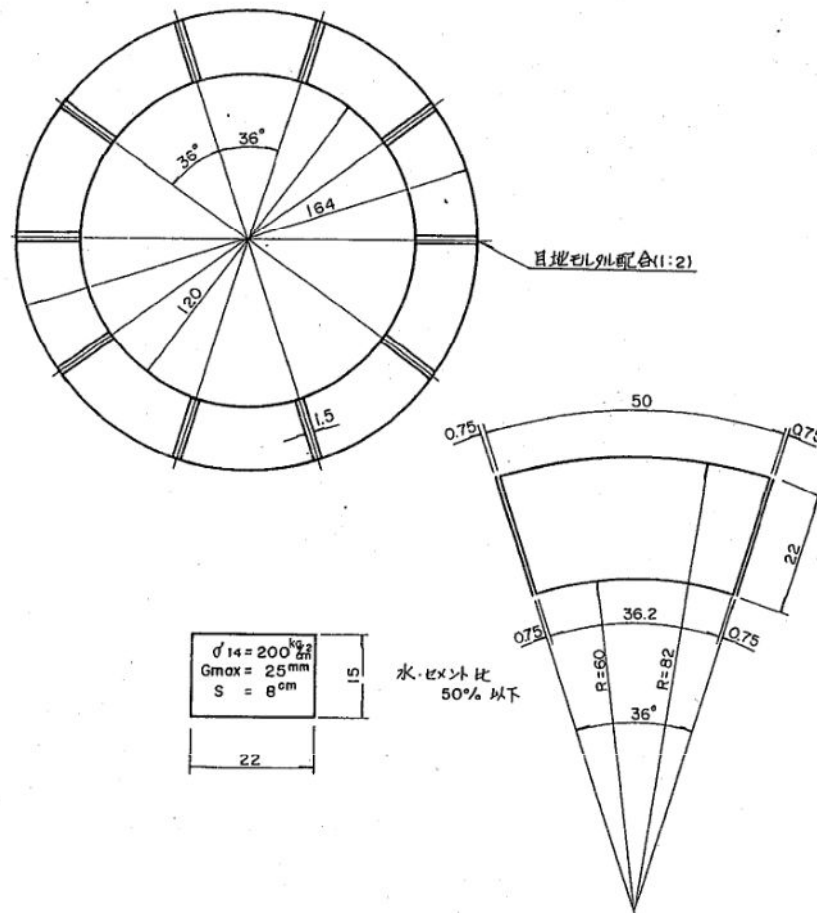
- 鉄筋かぶり 6cm
- 最小間隔 150mm以上 250mm以下
- 鉄筋径 主鉄筋 $\phi 13$ 以上 補強筋は1ランク上のを使用する

直型ブロック部 防水モルタルについては状況により計上する

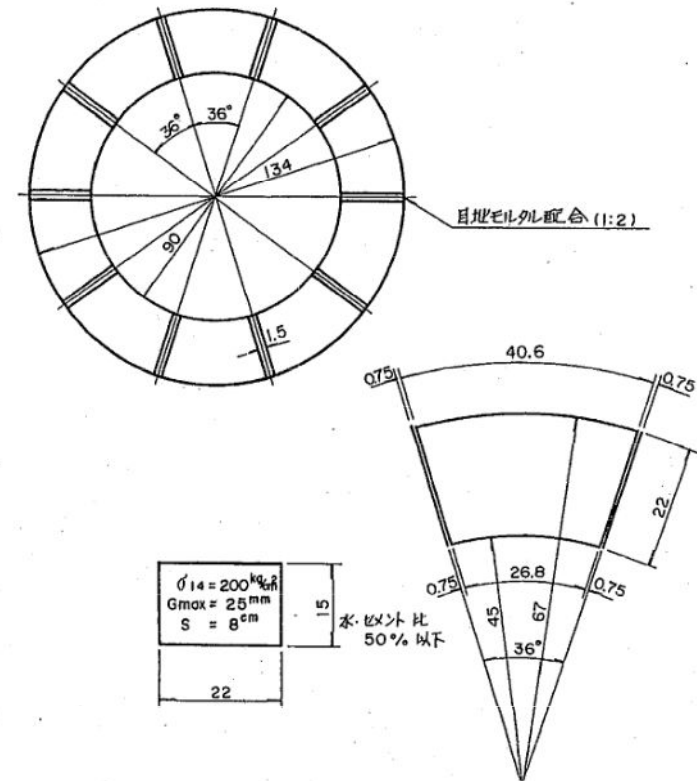


人孔ブロック詳細図

内径 120 cm 直型



内径 90 cm 直型

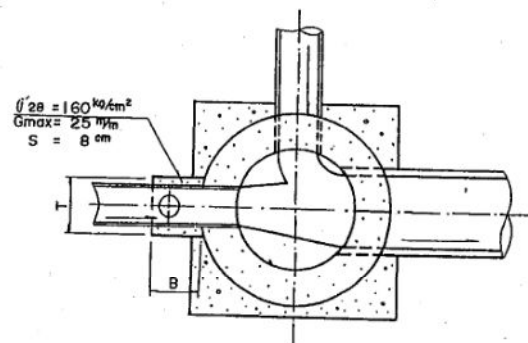


単位 cm

現場打ち(ブロック積)人孔副管工基準

S = 1:40

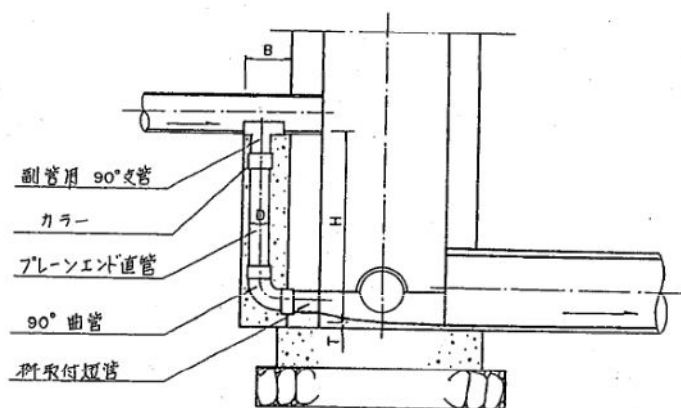
平面図



副管の設計は下の標準による

本管の径	副管の管径
$\phi 150\text{mm}$	$\phi 150\text{mm}$
$\phi 200\text{mm}$	$\phi 150\text{mm}$
$\phi 250\text{mm} \sim \phi 400\text{mm}$	$\phi 200\text{mm}$
$\phi 450\text{mm}$	$\phi 250\text{mm}$

断面図

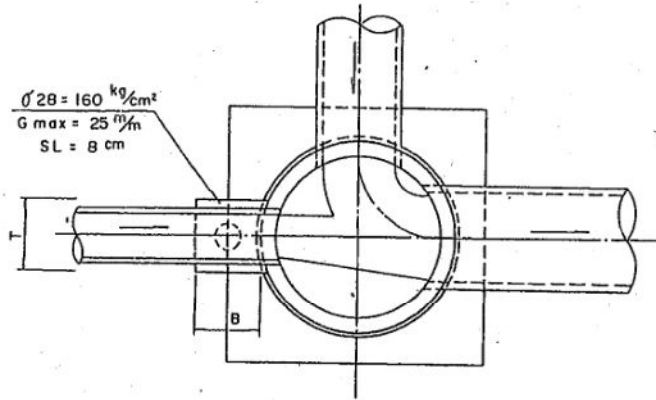


寸法表 (mm)			材料表
D	B	T	接着剤 (g/箇所)
150	350	400	30
200	400	450	55
250	500	550	90

組立人孔副管工基準 (固定)

S = 1 : 30

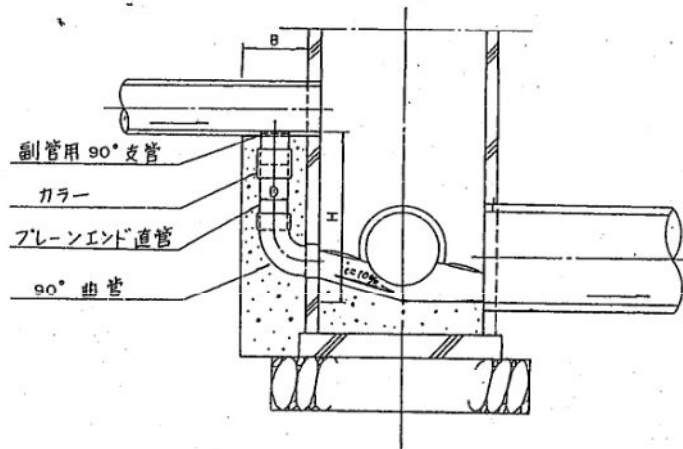
平面図



副管の設計は 下の標準による

本 管 の 径	副 管 の 管 径
$\phi 150\text{mm}$	$\phi 150\text{mm}$
$\phi 200\text{mm}$	$\phi 150\text{mm}$
$\phi 250\text{mm} \sim \phi 400\text{mm}$	$\phi 200\text{mm}$
$\phi 450\text{mm}$	$\phi 250\text{mm}$

断面図



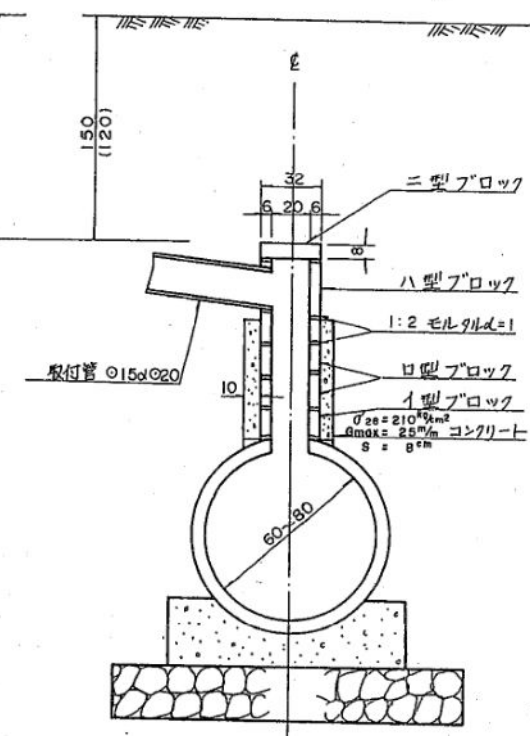
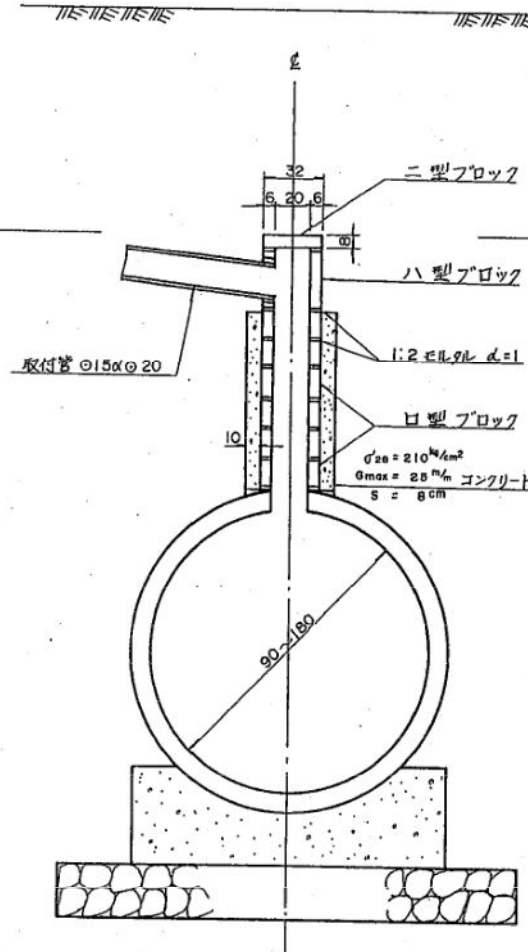
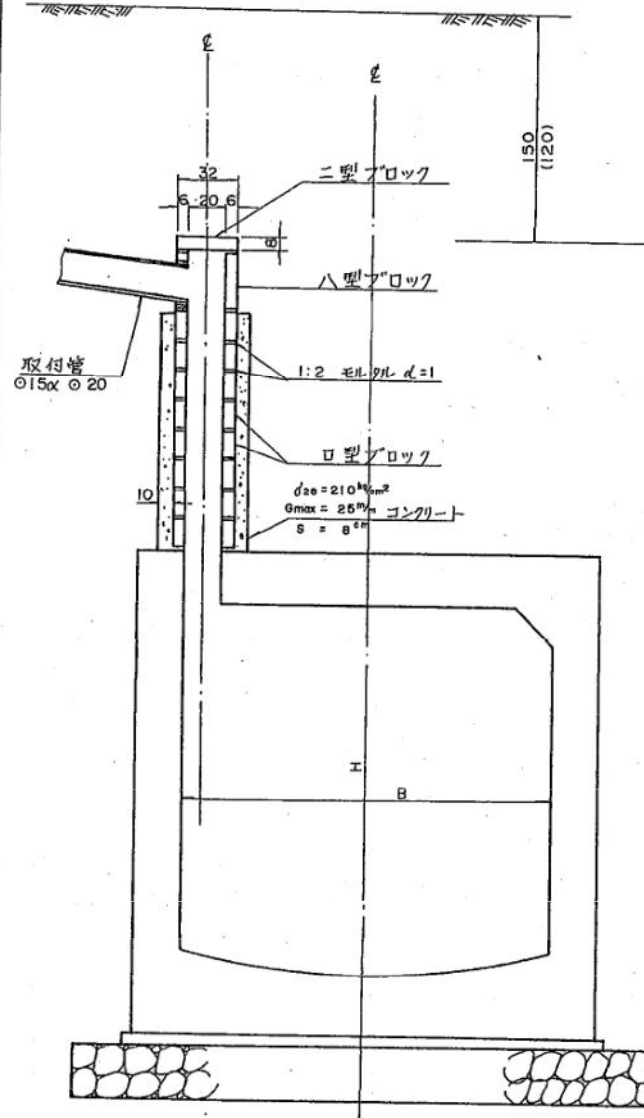
寸 法 表 (mm)			材料表
D	B	T	接着剤 (g/箇所)
150	350	400	30
200	400	450	55
250	500	550	90

取付管接続柵標準図 (* 取付管は塩ビ管とする)

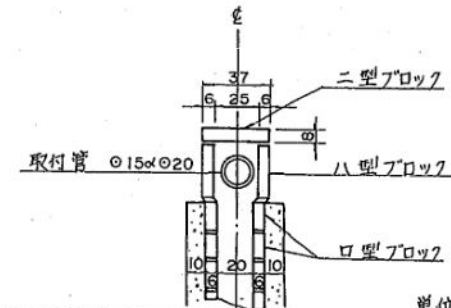
矩形暗渠用

φ90cm ~ φ180cm 用

φ60cm ~ φ80cm 用



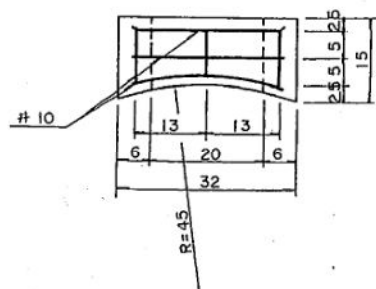
柵頭部本管軸方向断面図



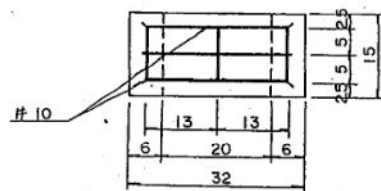
単位 cm

接続枠ブロック詳細図

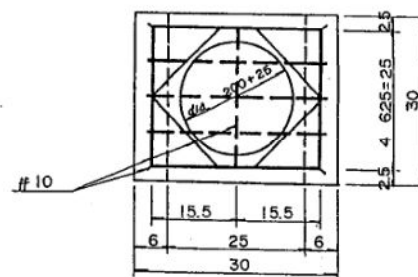
イ 型



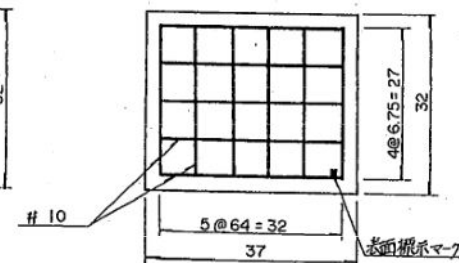
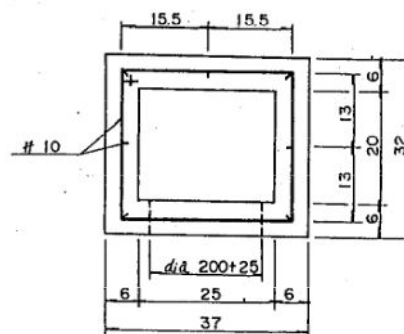
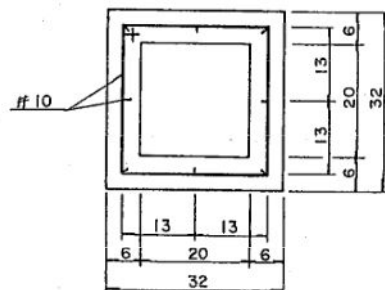
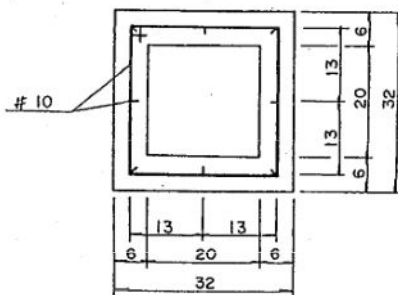
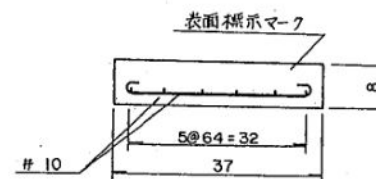
ロ 型



ハ 型



ニ 型

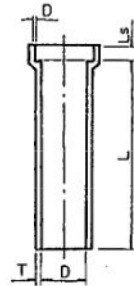


単位 cm

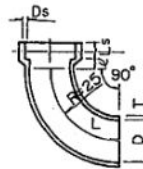
陶管定規図

S = 1:20

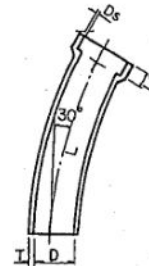
直管



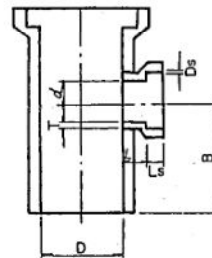
90°曲管



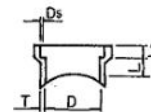
30°曲管



90°枝付管



90°ソケット管



種別	陶管						
	D	T	L	Ls	Ds	ℓ	B
	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm
直管	150	18	660	55	8		
	200	21	660	60	10		
短管	150	18	250	55	8		
	200	21	250	60	10	30	
90°曲管	150	18	550	55	8	30	
	200	21	550	60	10		
30°曲管	150	18	660	55	8		
	200	21	660	60	10		
90°枝付管	250x150	18	70	55	8		400
	250x200	21	80	60	10		400
	300x150	18	70	55	8		400
	300x200	21	80	60	10		400
	300x150	18	70	55	8		400
	300x200	21	80	60	10		400
90°ソケット管	150	18	60	55	8		
	200	21	75	60	10		